

公益財団法人アクロス福岡
経営状況説明書類

経済観光文化局
(令和7年8月)

目 次

第 1 概要

・ 財団の設置経緯	1
・ 設置目的	1
・ 基本財産	1
・ 評議員・役員名簿	2
・ 組織	3

第 2 令和 6 年度事業報告について

・ 事業報告	4
・ 貸借対照表	20
・ 正味財産増減計算書	22
・ 財産目録	27
・ 収支計算書	28

第 3 令和 7 年度事業計画について

・ 事業計画	31
・ 収支予算書	42

第1 概要

1 財団の設置経緯

設立年月日 平成6年8月10日

アクロス福岡の公の施設の管理運営を県から受託するとともに、国際・文化・情報の交流拠点施設としてのアクロス福岡の特性を生かして、福岡県における文化振興並びにそれらに関する情報の提供及び交流を促進するための諸事業を行う財団として設立された。

基本財産は、福岡県と福岡市からの出資によっている。

平成24年4月1日から公益財団法人に移行

2 設置目的

公益財団法人アクロス福岡定款による

第3条 この法人は、国際・文化・情報の交流拠点施設であるアクロス福岡の有する機能を一層高めるよう支援するとともに、総合的な文化・情報の交流ネットワークを推進し、福岡県における文化の振興並びに文化に関する情報の提供及び交流の促進を図り、もって県民の文化の向上と地域社会の活性化に寄与することを目的とする。

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 音楽芸術、舞台芸術等の芸術文化の振興に関する事業
- (2) 国際的な学術文化等の交流に関する事業
- (3) 地域文化の振興に関する事業
- (4) 生活、文化、行政、観光等にかかる情報の提供に関する事業
- (5) 福岡県がアクロス福岡内に設置する国際・文化・情報に関するセンターの管理及び運営の受託に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3 基本財産

3,000千円

[内訳]

福岡県	2,000千円	(66.7%)
福岡市	1,000千円	(33.3%)

4 評議員・役員名簿（令和7年7月1日現在）

評議員8名

氏 名	備 考
大 曲 昭 恵	福岡県副知事
武 濤 研二郎	（公財）福岡県国際交流センター 専務理事
中 村 英 一	福岡市副市長
樋 口 大 山	NHK福岡放送局長
深 町 朋 子	（大） 福岡女子大学 教授
松 永 一 雄	福岡県教育庁副教育長
松 本 恭 子	福岡県商工会議所連合会専務理事
松 本 博	エイ・エフ・ビル管理（株）代表取締役社長

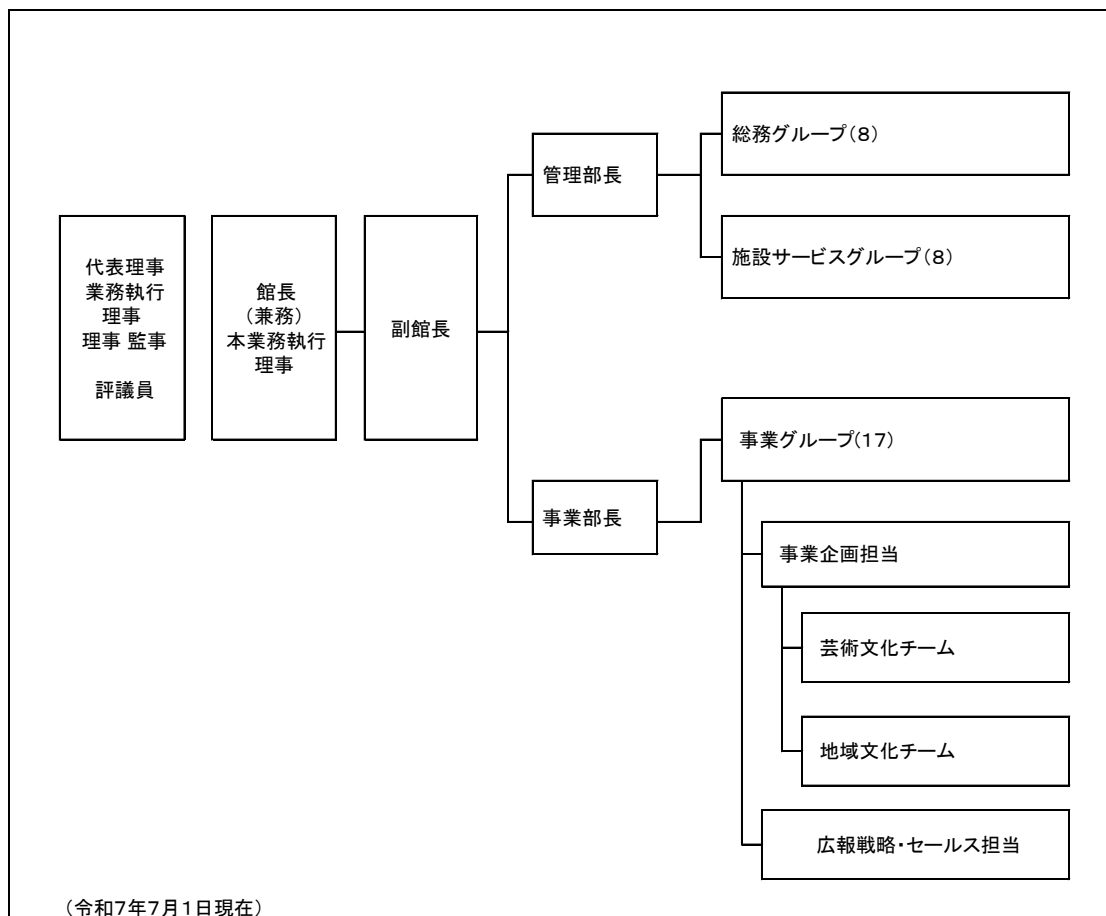
理事7名

職 名	氏 名	備 考
代表理事	津 上 賢 治	（学）中村産業学園 特別顧問
業務執行理事	神 代 眞 澄	（公財）アクロス福岡 館長
理 事	宇田川 宣 人	福岡県文化団体連合会 理事長
〃	浦 田 智 子	福岡県人づくり・県民生活部長
〃	河 内 美 香	大濠総合法律事務所 弁護士
〃	松 寺 昌 文	（公社）福岡県観光連盟 専務理事
〃	吉 田 宏 幸	福岡市経済観光文化局長

監事2名

氏 名	備 考
市 村 智 子	福岡県人づくり・県民生活部文化振興課長
清 水 剛	福岡監査法人 代表社員

5 組織



【各グループの所掌事務】

- 総務グループ : 総務及び会計管理に関すること
- 施設サービスグループ : ホール及び会議室等の貸出し、及び付帯サービスに関すること
- 事業グループ : クラシック等の公演提供、自主事業の企画・制作、チケット販売・管理に関すること、情報の収集・提供・相談、広報等に関すること

第2 令和6年度事業報告について

1 事業報告

令和6年度は、インフレ圧力が継続している中、個人消費は緩やかな回復傾向にあるといわれている。財団ではアクロス福岡開館30周年記念事業を実施し、来場者数は増加した。

一方、貸館の稼働率は回復傾向にあるものの、一部施設ではコロナ禍前の水準まで戻っておらず、財団を取り巻く状況は厳しさが続いている。

こうした中、30周年記念事業のほか、青少年を対象とした様々な事業や、年齢、性別、障がいの有無、経済状況などに左右されることなくあらゆる人が等しく文化を享受できるための各種事業を実施するとともに、令和8年度にスタートする「第6次中期経営計画」の策定に向け、現状分析や課題の洗い出しなどの検討をスタートした。

I 組織・運営

公益財団法人としてコンプライアンスを遵守し、適切な財団運営に取り組むとともに、福岡県文化芸術振興条例の目的の実現に向け、組織体制の充実を図った。

1 組織体制の充実

福岡県文化芸術振興条例に沿った事業を限られた人員で効率的・効果的に実施するため、組織の枠組みを超えて設置したプロジェクトチームにおいて、今後の課題となる3つのテーマで議論・検討を行い、社会包摂推進等に取り組んだ。

(1) 広報戦略・ファンづくりプロジェクトチーム

外部アドバイザーを活用し、「パブリックリレーションズ」研修を実施。地域に開かれた施設として、利用者と双方向の関係性をいかに構築するか検討を行った。

(2) ユニバーサルデザイン・合理的配慮プロジェクトチーム

車いす利用者向けのアクセスマップを作成、ホームページに公開した。

(3) 社会包摂推進プロジェクトチーム

里親家庭を対象とした「アクロス・こども文化芸術体験」にチームメンバーも参加、受講者の意見をまとめ、外部アドバイザーの助言も受けて事業評価を試行的に実施し、事業の成果や改善点の検討を行った。

2 財政基盤の維持

事務の効率化、事業経費削減に取り組んだ。貸館の利用料金収入やチケット収入はコロナ禍前の水準まで戻っていないが、大型公演のチケット販売が好調であったことやチケット販売手数料が増加したことに加え、文化庁の文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業）が採択されたことから、財政

状況は改善した。

また、令和6年4月1日から「寄附金取扱要綱」及び「寄附金積立金設置要綱」を施行し、寄附の受付についてホームページに掲載した。

3 人材育成の推進

- (1) 財団に求められる役割を共有するため、全職員を対象に事業計画及び予算を周知する研修をはじめ、県の障がい者差別解消専門相談員を招き、障がいのある利用者への合理的配慮について学ぶ研修を実施する等社会包摂についての知識の習得に努めた。

また、アートマネジメント研修等の外部主催研修も活用して職務能力の向上を図り、中長期的な視点で財団を担う人材の育成に取り組んだ。

- (2) 職員の育成と組織内のマネジメントシステムを構築することを目的として人事評価を実施、評価結果を処遇に反映した。

II 施設サービス（貸館）事業

国際会議及び国内学会等の開催を目的とした空室状況等の問合せや提案機会は増えており、概ねコロナ禍前の状態に戻ってきたが、国際会議場、大会議室及び中小会議室は他施設に比べ稼働の回復状況が遅れている。

その要因として、オンライン会議等が日常化し施設を利用する機会が減少したことや利用目的が重なる施設が新たに開業したこと、学会や国際会議は2～4年先の開催予定にて候補地を探し出すため、すぐには利用につながらないことが考えられる。

このような中、積極的な営業誘致を行うとともに、引き続き日常的な防火・防災についての研修・訓練を実施し、防火・防災体制の強化を図った。併せて、「個別施設計画」に基づく計画的な維持・保全に努めた。

1 積極的な営業誘致

- (1) 国際会議や国内学会誘致に向け、福岡観光コンベンションビューローとともに見込み顧客への提案、打合せ、下見同行等を頻度を増やして行った。
- (2) 周辺類似施設との情報交換による営業情報収集と会議専門代理店（PCO）への誘致活動を行った。
- (3) 令和6年1月に開催した施設見学会参加42団体の内、大規模の国際会議・全国大会の開催を予定している主催者や学会担当の代理店等に対し、会場下見の同行や見積提案等のフォローを行った。
- (4) シンフォニーホールの空室状況は、制限のない利用に関しては1年先までしか公開していないため、2年前から受付可能なクラシックやオペラ等の利用実績がある顧客を対象に、空室状況や利用案内を随時行った。

〈大型イベントの開催件数〉

誘致内容	令和４年度	令和５年度 (a)	令和６年度 (b)	増 減 (b-a)
学会・国際会議開催件数	１ ９	１ ５	３ １	＋ １ ６
合同就職説明会開催日数	２ ９	３ １	４ ０	＋ ９

※学会・国際会議については会議内容により実施日数が大きく異なるため件数で計上、
合同企業説明会は日数で計上

２ 利用者サービスの充実強化

- (１) 経年劣化による、ほつれや破れが表面化していた、福岡シンフォニーホールのでん帳・幕地の更新を行った。
- (２) 国際会議場のロビー展示等にてニーズの高い、展示用機の追加及び更新を行った。
- (３) 円形ホールの映像機器を、映像がより鮮明で明るく見える最新の設備に更新した。
- (４) 大会議室及び中小会議室について、壁面補修、クロス張替、塗装及びタイルカーペットの更新を行った。
- (５) 国際会議場の客席用革張り椅子の一部について、快適で意匠に配慮した椅子に更新した。

３ 施設機能の充実

- (１) 安全の確保・トラブルの防止を基本とした保守点検を行うとともに、施設の計画的な維持・保全のため、シンフォニーホール舞台機構の一部更新及びイベントホールの客席扉の一部更新を行った。
- (２) 防火・防災対策として、ビル管理会社と共同で火災・地震発生時の初動対応訓練を実施するとともに、小グループ防災研修をはじめとした日常的な防災意識・防災体制の充実強化に向けた取組を行った。

Ⅲ 文化振興事業

音楽・舞台芸術を中心とした文化芸術の振興を図るため、「グローバルな感動体験」、「演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成」及び「あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出」の３つの事業理念を掲げ、バランスのとれた事業展開を行い、計８６事業を実施した。

令和６年度は３０周年記念事業として、世界トップレベルのオーケストラ「ロンドン交響楽団」の演奏会を実施するなど、質の高い音楽・舞台芸術の鑑賞機会の提供に加え、「北部九州ジュニアオーケストラフェスティバル」の開催や国際的な活躍を目指す若手演奏家を育成する「アクロス福岡国際音楽セミナー」を新設するなど、若い世代を対象とした育成事業を強化した。

そのほか、地域の文化拠点として「ミュージック・キャラバン」「30th Go Round」

等のアウトリーチ事業や県民参加型の演奏会「アクロス・ポップス・ウインドオーケストラ」を実施した。さらに、特別支援学校を対象とした「学校キャラバン特別授業」等、社会包摂事業にも積極的に取り組んだ。

こうした事業を通して、30周年を迎えたアクロス福岡を、より身近に感じていただけるよう取り組んだ。

《3つの理念に基づく事業展開》30周年記念事業（8事業）を含む計86事業

○ グローバルな感動体験（33事業）

（質の高い音楽・舞台芸術の鑑賞機会の提供）

ロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、アクロス弦楽合奏団等を主催・共催した。

○ 演奏家・聴衆・事業運営者等事業を支える人の育成（33事業）

（次世代を担う若い音楽家とそれを支える人の育成と環境整備）

学校キャラバン、ミュージック・キャラバンといったアウトリーチ事業やランチタイムコンサートを実施した。また、目的別の育成事業として、プロを目指すアクロス福岡国際音楽セミナーや音楽愛好家を育てる福岡ジュニアオーケストラ等を主催・共催した。

○ あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出（20事業）

（あらゆる人が等しく文化芸術を享受できる場として機能するため、多様な分野と協働・連携した事業を展開）

公募によって選ばれたアマチュアの吹奏楽愛好家が一線で活躍するプロ奏者と共演するアクロス・ポップス・ウインドオーケストラや誰もが等しく文化芸術を享受できる社会包摂事業である学校キャラバン特別授業、音の架け橋等を主催・共催した。

1 30周年記念事業の実施（8事業）

○ グローバルな感動体験

（1）ロンドン交響楽団

英国 No.1 オーケストラが16年ぶりにアクロス福岡へ登場。カリスマ的な人気を誇る超絶技巧の天才ピアニスト、ユジャ・ワンを迎え、ラフマニノフの協奏曲を披露した。

（2）フィルハーモニア管弦楽団

人気と実力を兼ね備えるピアニスト辻井伸行が、英国の名門オーケストラと協演した。

（3）佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 with 角野隼斗

世界で活躍する佐渡裕が福岡で6年ぶりにオーケストラを指揮し、若手で最も人気のあるピアニスト角野隼斗と協奏曲を披露した。

(4) 太田弦首席指揮者就任記念 九州交響楽団 第420回定期演奏会

九州交響楽団の首席指揮者就任記念演奏会を、アクロス福岡と九州交響楽団が共同で主催した。首席指揮者に就任した太田弦が、人気ピアニスト亀井聖矢を迎え、ショパンのピアノ協奏曲を披露するなど、若き才能が聴衆を魅了した。

○ 演奏家・聴衆・事業運営者等事業を支える人の育成

(5) アクロス福岡国際音楽セミナー

若手演奏家の育成を目的に、ピアノ・ヴァイオリン・声楽部門でマスタークラスを開催した。ドイツのミュンヘン国際音楽セミナーとの提携により、一流の教授やソリストの指導が国内で受けられる貴重な機会を提供し、音楽舞台での活躍や国際コンクール入賞を目指す若者を支援した。また、演奏家としても活躍する教授陣によるコンサートも開催し、好評を博した。

(6) 北部九州ジュニアオーケストラフェスティバル

大分、長崎、熊本、福岡4つの県の公益財団法人が運営するジュニアオーケストラが、2泊3日の合宿を経て1日限りの合同オーケストラを結成し、福岡シンフォニーホールで合同演奏（指揮：下野竜也）を実施した。オーケストラという共通の活動を活かして、こどもたちが各拠点だけに留まらず影響し合って仲間を増やし、地域の文化芸術の活性化につなげていくことを目指した。

○ あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出

(7) アクロス・ポップス・ウインドオーケストラ

アクロス・クラシックふえすたの出演者として、楽器経験のある県民を公募形式のオーディションで募った。プロ奏者とシンフォニーホールのステージで共演する機会を提供し、県民の音楽活動への参加につながった。

(8) 30th Go Round

アクロス福岡のある天神地区にて、無料の出張ミニコンサートを計5回開催し、再開発で生まれ変わる街の魅力発信に貢献した。（会場：大名ガーデンシティ、県立美術館、ソラリアプラザ、天神中央公園・貴賓館、西鉄福岡駅）

2 青少年を対象とした事業の実施

(1) 福岡ジュニアオーケストラ、福岡ジュニアオーケストラアカデミー

県内小学生から高校生の楽器経験者を対象に「福岡ジュニアオーケストラ」を編成し、オーケストラを通じた音楽活動を提供したほか、「福岡ジュニアオーケストラアカデミー」では、小中学生の楽器未経験者へ基礎的な演奏技術をレクチャーすることにより演奏することの楽しさを紹介した。

(2) 舞台芸術感動体験事業

県内の小中学生を対象に、福岡シンフォニーホールで九州交響楽団の演奏を体感する事業において、遠隔地からの参加校にバス代を補助することによって約2,300人が参加した。

(3) 青少年等音楽サポート事業

公募により選定した県内16団体(大学、高校)の定期演奏会に共催し、助成を行うことにより福岡シンフォニーホールでの演奏の機会を提供した。

(4) こども無料招待【文化庁 子供文化芸術活動支援事業】

こどもたちに本格的な舞台公演に触れる機会を提供する取組として、文化庁の補助金を活用し、18歳以下のこどもたちを以下の公演に無料招待した。

- ・タリス・スコラーズ 100名
- ・御伽ノ介絵巻其の壱～桃太郎編～ 500名
- ・二人のアムラン デュオコンサート 100名
- ・ロンドン交響楽団 300名

3 舞台芸術を支える人材の育成

県内公立施設の職員等を対象とした文化芸術事業に関する意識と企画力・実践力を高めるための研修「文化芸術イノベーションアカデミー」を実施し、専門的人材の育成を推進した。

年4回、講義や分科会等における参加者のディスカッション形式の研修を行い、23自治体の36施設、延べ216人が参加した。

4 音楽を通じた社会包摂への取組

(1) 学校キャラバン特別授業、音の懸け橋

特別支援学級・学校を対象に、音楽の出前授業(パーカッション等の体験)を計14回実施した。

(2) 劇場って楽しい！！

バリアフリーな運営が可能なイベントホールで知的障がい児、発達障がい児が音楽鑑賞を楽しむ劇場体験プログラム「劇場って楽しい！！2024」を開催した。社会包摂事業を実施するために立ち上げた「九州ネットワーク会議」を通じて、企画から事前研修、当日の運営まで県内外のホールと協働で実施し、アクロス福岡の持つ知見や運営ノウハウを共有した。

5 各種団体との連携強化

九州交響楽団と共同で「マタニティコンサート」を実施したほか、公立文化施設間で社会包摂事業の研修連携を図る「九州ネットワーク会議」、九州のホール間連携を図る「九州類似ホール連絡会議」、さらに全国の類似ホールとの情報共有が目的の「コンサートホール企画連絡会議」に参加し、企画の提案や課題を共有した。

6 チケット販売業務の効率化とWEBメンバーズ増加の取組

WEBによるお客様ご自身でのチケット購入の増加に伴い、窓口販売に係る業務を

外部委託し販売業務の効率化を図った。

また、チケットのWEB先行購入やメールマガジンの配信などの特典に加え、一部公演でのWEBメンバーズ限定割引キャンペーンなどを実施した結果、WEBメンバーズの数に着実に増加し、27,000人を超えた。

Ⅱ 情報提供事業

伝統工芸の振興に取り組む地域・伝統文化活動団体に対して発表の場を提供し、活動の支援と交流の促進を図るとともに、県民に文化の鑑賞や体験の機会を創出した。

また、文化芸術団体、文化施設、まちづくり団体及び観光分野等地域との連携による伝統工芸や地域文化、県内各地域の魅力の発信を通じ、にぎわいづくりと地域振興に努めた。

さらには、障がいのある人に対し、文化芸術の鑑賞や創造の機会、作品等を発表する場を提供し、活動を支援した。

1 30周年記念事業の実施

(1) 触って体感しよう！福岡の工芸品

伝統工芸品や製作に使用する道具等に触れて学ぶことで、障がいの有無に関わらず誰でもが気軽に工芸品に接する機会を広げることを目的に、視覚障がい者と晴眼者が一緒に参加するワークショップを公募により実施した。

(2) 30人の匠展

全国で活躍する女性伝統工芸士・作家など30名の匠による作品の展示販売を実施した。

(3) ふるさとの民工芸品展

福岡県知事が指定する工芸品の魅力発信を目的に、県内の37品目の特産民工芸品の展示販売を実施した。

2 伝統工芸品の普及と地域文化・生活文化の推進

(1) 匠ギャラリーの活性化

- ・国、県指定工芸品の常設展示のほか、歴史や作業工程を紹介するテーマ展示や週替わりの企画展等を開催した。また、1階では地域の食と文化を発信するカフェやショップを運営した。
- ・工芸作家が気軽に作品を展示販売できる「FUKUOKA KOUGEI 50」を通年で実施した。
- ・障がいの有無に関わらず、工芸品そのものや道具などに直接触って鑑賞を楽しむ体験型事業「ともに触れ語りあって体感しよう！福岡の工芸品」を実施した。

(2) インバウンドを見据えた伝統工芸品と地域文化・生活文化の魅力発信

- ・近隣宿泊施設や観光案内所等へ外国語パンフレットを配架・設置した。

- ・匠ギャラリー内の一部ショップにおいて、外国人観光客等が一定額以上の商品を購入する際、消費税を免除する免税対応を実施した。

(3) 次世代への継承

- ・こどもをターゲットにした夏休み手作り体験では、伝統工芸体験を通じて工芸品の魅力を伝えた。

3 文化・情報の交流拠点づくり

(1) 多様な主体と連携した情報の発信

- ・イベント情報発信サイト「アクロスおでかけナビ」を運営した。
- ・県内の自治体と協働し、地域の文化や観光資源等を紹介するパネル展や映像の上映のほか、物産展や地域が誇る世界遺産等について学ぶ歴史文化講座等を開催した。

(2) あらゆる人が文化を享受できる環境整備

- ・障がいのある人の文化芸術活動を支援するため、九州障害者アートサポートセンターと協働し、公募展やステージパフォーマンスといった県内の障がいのある人のアート活動を紹介する「みんなのアート展」を開催した。
- ・里親家族を対象に、より文化芸術に親しんでもらえるよう「アクロス・子ども文化芸術体験」を開催し、コンサートの舞台体験や伝統工芸、アート体験ができる機会を創出した。体験サポートボランティアや学生の事業参画にも取り組んだ。
- ・メッセージホワイエ等を活用し、文化活動者に作品発表の場を提供した。

4 にぎわいづくりと地域振興・観光振興

(1) 文化と伝統を生かしたにぎわいのまちづくり

- ・緑ある暮らしをテーマに、館内に樹木を配置し、照明・香りで演出した「都会の森」の展示や樹木の香りに包まれた空間でのコンサートなど、新しい切り口で福岡の樹木を紹介する「アーバングリーンフェスタ」を実施した。
- ・「匠の饗宴」では、国際女性デーにあわせ、全国で活躍する女性伝統工芸士・作家等、女性の匠30名による作品展示やトークセッション、制作体験を行った。
- ・福岡県知事指定特産民工芸品37品目を一堂に展示し、“郷土玩具・民芸品の新しい取扱説明書”をテーマに、産地が抱える課題や作り手の思いを伝える公開ディスカッションを円形ホールで開催した。また、津屋崎人形の絵付け体験や八朔の馬の制作体験を行い、工芸品の認知度向上に努めた。

(2) 観光案内所の魅力向上

- ・県内外の自治体や民間企業等が観光資源を活用して実施するイベント情報を「アクロスおでかけナビ」で提供した。
- ・旬な情報をわかり易く届けるため、季節のイベントや酒蔵開きなどテーマ毎に特集コーナーを設けて、情報発信に努めた。

5 効果的な広報の実施

(1) 開館30周年特別広報

開館30周年の特設ページを令和6年4月に開設し、年間を通して30周年記念事業を紹介した。また、開館30周年の集大成として「アクロス・バースデーコンサート」に向けた特設ページを令和7年1月に開設し、2つの特別企画、第1弾「LPレコードプレゼント」、第2弾「福岡シンフォニーホールオープンステージ」のプロモーションを実施し、積極的な広報展開に務めた。

(2) 効果的な広報の実施

- ・WEBメンバーズへのメルマガ配信を定期的に行い、チケット発売や公演情報等、販売促進につながる情報発信に努めた。
- ・ホームページやFacebook、X、Instagram等のSNSを活用し、集客につながる広報をタイムリーに展開した。
- ・毎月定例記者発表を開催したほか、市政だよりやWEB関連サイトへのパブリシティ掲載に努めた。（広報掲載件数 1,303件）
- ・顔が見える広報展開として、ジュニアオーケストラの団員達と一緒にマスコミキャラバンを実施し、確実な掲載獲得につなげた。

(3) 広聴機能の充実

施設利用者や主催事業のアンケートのほか、ホームページや電話等を通じて寄せられる県民や利用者の意見について、4半期ごとに集計・報告を行い財団全体で情報共有を図るとともに、利用者のニーズの把握に努め、必要に応じ対応した。

【令和6年度 施設の利用状況】

1 施設の利用状況と利用料金の推移（3年間）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全施設稼働率（％）	66.0	67.1	66.4
利用料金収入（百万円）	400	530	506

※ 全施設（福岡シンフォニーホール・イベントホール・国際会議場・大中小会議室・円形ホール・交流ギャラリー・練習室）

2 主な施設の利用状況

（1）福岡シンフォニーホール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用日数（日）	139	241	236
開館日数（日）	167	336	298
稼働率（％）	83.2	71.7	79.2

（2）イベントホール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用日数（日）	232	222	228
開館日数（日）	320	323	328
稼働率（％）	72.5	68.7	69.5

（3）国際会議場

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用日数（日）	91	177	174
開館日数（日）	168	349	342
稼働率（％）	54.2	50.7	50.9

※「開館日数」は、休館日（年末年始）と施設の保守点検日等の日を差し引いた日数

※令和4年度は特定天井耐震化工事期間中の休館日数を開館日数より除外。

【参考】主な施設の稼働率の推移

	年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
福岡シンフォニーホール	令和 6 年度	79.2%	82.8%	64.0%	68.0%	75.0%	83.3%
	令和 5 年度	53.6%	70.0%	65.5%	78.6%	48.3%	58.6%
	令和 4 年度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
イベントホール	令和 6 年度	73.3%	58.6%	65.4%	75.0%	55.6%	64.3%
	令和 5 年度	72.4%	48.3%	73.1%	72.4%	55.6%	70.4%
	令和 4 年度	63.3%	65.5%	61.5%	91.7%	70.4%	61.5%
国際会議場	令和 6 年度	36.7%	25.8%	63.0%	64.3%	31.0%	40.0%
	令和 5 年度	36.7%	38.7%	44.4%	69.0%	41.9%	36.7%
	令和 4 年度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	年 度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
福岡シンフォニーホール	令和 6 年度	96.3%	92.6%	88.5%	61.9%	76.0%	75.9%	79.2%
	令和 5 年度	84.6%	92.6%	88.9%	65.4%	66.7%	90.0%	71.7%
	令和 4 年度	81.5%	100.0%	100.0%	63.0%	84.6%	70.0%	83.2%
イベントホール	令和 6 年度	58.6%	71.4%	84.0%	54.2%	81.5%	92.6%	69.5%
	令和 5 年度	56.7%	84.0%	90.9%	28.0%	92.0%	86.2%	68.7%
	令和 4 年度	76.7%	75.0%	70.8%	70.0%	75.0%	89.3%	72.5%
国際会議場	令和 6 年度	60.0%	86.7%	34.6%	48.0%	68.0%	54.8%	50.9%
	令和 5 年度	45.2%	82.1%	50.0%	52.0%	64.3%	51.6%	50.7%
	令和 4 年度	58.6%	55.2%	53.8%	34.6%	57.1%	63.3%	54.2%

※シンフォニーホールは令和 3 年度 8 月から令和 4 年度 9 月末まで休館

※国際会議場は令和 3 年度 3 月から令和 4 年度 9 月末まで休館

3 福岡シンフォニーホール利用日数と利用内容

利用内容	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
音楽	1 1 7	1 9 0	1 7 3
舞台公演	1 1	8	1 4
会議・集会 他	1 1	4 3	4 9
合計	1 3 9	2 4 1	2 3 6
音楽・舞台公演比率 (%)	9 2 . 0	8 2 . 2	7 9 . 2

【令和6年度 文化振興事業の実施状況】

→主催41事業・共催42事業の計83事業の予定であったが、共催3事業を追加実施し、計86事業を実施。

グローバルな感動体験(33事業)

◎は福岡県・福岡市等との実行委員会事業

公 演 名		実施日	形態	会場	入場者数	備考
オーケストラ	新日本フィルハーモニー交響楽団	R6.5.21	主催	福岡シンフォニーホール	1,819 人	共同主催:読売新聞社
	ブラハ放送交響楽団	R6.7.7	主催	福岡シンフォニーホール	1,768 人	共同主催:TVQ九州放送
	大阪フィルハーモニー交響楽団	R6.9.17	主催	福岡シンフォニーホール	1,801 人	共同主催:大阪フィルハーモニー交響楽団、パナソニック
	ロンドン交響楽団	R6.9.24	主催	福岡シンフォニーホール	1,733 人	
	ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤー・コンサート2025	R7.1.9	共催	福岡シンフォニーホール	1,746 人	主催:TVQ九州放送
	フィルハーモニア管弦楽団 ピアノ:辻井伸行	R7.1.19	主催	福岡シンフォニーホール	1,790 人	共同主催:KBC九州朝日放送
	アクロス弦楽合奏団 第16回定期演奏会	R7.3.20	主催	福岡シンフォニーホール	733 人	
室内楽	仲道郁代 ピアノリサイタル2024	R6.4.27	共催	福岡シンフォニーホール	1,376 人	主催:西日本新聞社
	九管創立20周年記念 九州管楽合奏団演奏会2024	R6.5.18	共催	福岡シンフォニーホール	776 人	主催:読売新聞社
	チョ・ソンジン ピアノリサイタル	R6.6.5	主催	福岡シンフォニーホール	1,253 人	共同主催:TVQ九州放送
	ダネル弦楽四重奏団	R6.6.13	主催	福岡シンフォニーホール	456 人	
	タリス・スコラーズ	R6.7.1	主催	福岡シンフォニーホール	954 人	
	亀井聖矢ピアノリサイタル	R6.8.31	共催	福岡シンフォニーホール	1,740 人	主催:西日本新聞社
	二人のアムラン デュオコンサート	R6.9.10	主催	福岡シンフォニーホール	468 人	
	ウィーン放送交響楽団×角野隼斗	R6.9.11	共催	福岡シンフォニーホール	1,794 人	主催:TVQ九州放送
	ベルリン・バロック・ゾリステン	R6.9.21	主催	福岡シンフォニーホール	1,137 人	共同主催:TVQ九州放送
	ザ・キングズ・シンガーズ	R6.10.13	共催	福岡シンフォニーホール	1,352 人	主催:TVQ九州放送
	マルティン・ガルシア・ガルシア ピアノリサイタル	R6.11.2	共催	福岡シンフォニーホール	1,210 人	主催:読売新聞社
	小曽根真 ピアノ・ソロ クラシック×ジャズ2024	R6.11.29	共催	福岡シンフォニーホール	1,767 人	主催:ラブエフェム
	横山幸雄ピアノリサイタル	R6.11.30	共催	福岡シンフォニーホール	1,213 人	主催:読売新聞社、エフエム福岡
	スタニスラフ・ブーニン ピアノリサイタル	R6.12.3	共催	福岡シンフォニーホール	1,781 人	主催:TVQ九州放送
	HIMARI ヴァイオリンリサイタル	R6.12.14	共催	福岡シンフォニーホール	1,796 人	主催:TVQ九州放送 ※共催追加事業
	田中彩子 debut 10周年記念ツアー	R6.12.15	共催	福岡シンフォニーホール	898 人	主催:KBC九州朝日放送
	古澤巖×ベルリン・フィルハーモニックスト リングス	R6.12.16	共催	福岡シンフォニーホール	1,419 人	主催:RKB毎日放送
九州交響楽団との共同企画	太田弦首席指揮者就任記念 九州交響楽団第420回定期演奏会	R6.4.11 ～4.12	主催	福岡シンフォニーホール	2,943 人	共同主催:九州交響楽団 11日:1,483人 12日:1,460人
	九州交響楽団「第九」	R6.12.21	主催	福岡シンフォニーホール	1,732 人	共同主催:九州交響楽団
	九州交響楽団ニューイヤーコンサート	R7.1.11	主催	福岡シンフォニーホール	1,512 人	共同主催:九州交響楽団
	九響定期支援事業	—	主催	福岡シンフォニーホール	— 人	定期演奏会前日のリハーサル会場を提供
	九響・第37回名曲・午後のオーケストラ	R6.6.29	共催	福岡シンフォニーホール	1,043 人	主催:九州交響楽団
	九響・第38回名曲・午後のオーケストラ	R6.9.7	共催	福岡シンフォニーホール	1,042 人	主催:九州交響楽団
	九響・第39回名曲・午後のオーケストラ	R6.11.23	共催	福岡シンフォニーホール	1,063 人	主催:九州交響楽団
	九響・第40回名曲・午後のオーケストラ	R7.2.22	共催	福岡シンフォニーホール	1,151 人	主催:九州交響楽団
				小計	44,937 人	

演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成(33事業)

公演名	実施日	形態	会場	入場者数	備考
◎ アクロス・ランチタイムコンサートvol.104 ウェイウェイ・ウー 記憶の響き	R6.5.28	主催	福岡シンフォニーホール	1,140 人	二胡&ピアノ
◎ アクロス・ランチタイムコンサートvol.105 ピアノで語る音楽と絵画	R6.9.13	主催	福岡シンフォニーホール	913 人	ピアノ: 仁田原祐、市野あゆみ
◎ アクロス・ランチタイムコンサートvol.106 華やかなるヴェネツィア楽派の響き	R6.10.12	主催	福岡シンフォニーホール	852 人	新福岡古楽音楽祭2024 室内楽コンサート
◎ アクロス・ランチタイムコンサートvol.107 Piano Duo Sakamoto リサイタル	R6.11.28	主催	福岡シンフォニーホール	989 人	坂本彩、リサ
◎ アクロス・ランチタイムコンサートvol.108 安並貴史×アカロス弦楽四重奏団	R6.12.14	主催	福岡シンフォニーホール	878 人	30th アニバーサリーコンサート
◎ アクロス・ランチタイムコンサートvol.109 若林顕&鈴木理恵子デュオコンサート	R7.2.21	主催	福岡シンフォニーホール	716 人	ピアノ: 若林顕 ヴァイオリン: 鈴木理恵子
アカロス国際音楽セミナー	R6.7.22 ～8.1	主催	福岡シンフォニーホール 練習室 他	699 人	7/22～26: ピアノ 7/28～8/1: ヴァイオリン、声楽 7/27 アフタヌーンコンサート 567人 聴講生等来場者:132人
御伽の介絵巻 其の巻「桃太郎編」	R6.8.4	主催	福岡シンフォニーホール	810 人	舞踊: 梅川壱ノ介 落語: 三遊亭鳳志 ヴァイオリン、ピアノ
第91回NHK全国学校音楽コンクール 九州・沖縄ブロックコンクール	R6.8.27 ～8.28	共催	福岡シンフォニーホール	1,369 人	主催: NHK 8/27 学校の部: 689人 8/28 高校の部: 359人 / 小学校の部: 321人
舞台芸術感動体験事業	R6.11.13	主催	福岡シンフォニーホール	2,338 人	福岡県教育庁との共同主催 2回公演 ①1,328人 ②1,010人
学校キャラバン事業	通年	主催	県内の小学校	258 人	計8回実施 ヴァイオリン&ピアノ ※支援学級向け「特別授業」は除く
◎ ヴァイオリンセミナー 令和6年度ヴァイオリンセミナー&受講生発表会	通年	主催	練習室 他	141 人	受講生7人(12ヵ月間) 3/17 スプリングコンサート発表会 141人
福岡ジュニアオーケストラアカデミー	通年	主催	練習室・イベントホール他	—	アカデミー員: 55人
福岡ジュニアオーケストラ事業	通年	主催	練習室・イベントホール他	—	団員: 58人
北部九州ジュニアオーケストラフェスティバル	R6.8.25	主催	福岡シンフォニーホール	912 人	8/23～24 練習・リハーサル 福岡・熊本・大分・佐世保のジュニアオーケストラによる合同演奏会
福岡ジュニアオーケストラ 第5回定期演奏会	R7.3.26	主催	福岡シンフォニーホール	714 人	
ミュージック・キャラバン	通年	主催	県内文化施設	1,543 人	福岡県内12か所へアウトリーチ事業を実施 (県美、芸文館、歴史資料館、那珂川、大牟田、 豊前、久留米、糸田、柳川など)
◎ 福岡県立城南高校吹奏楽部 定期演奏会	R6.4.21	共催	福岡シンフォニーホール	1,044 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 上智福岡中学高等学校吹奏楽部 定期演奏会	R6.4.28	共催	福岡シンフォニーホール	900 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 福岡教育大学管弦楽団 定期演奏会	R6.4.29	共催	福岡シンフォニーホール	550 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 福岡県立筑紫丘高等学校吹奏楽部 定期演奏会	R6.5.4	共催	福岡シンフォニーホール	1,800 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 福岡第一高等学校吹奏楽部 第2回私立学校合同演奏会	R6.5.6	共催	福岡シンフォニーホール	1,000 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 九州大学芸術工学部フィルハーモニー管弦 楽団 定期演奏会	R6.5.25	共催	福岡シンフォニーホール	315 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 九大フィルハーモニー・オーケストラ 第212回定期演奏会	R6.6.8	共催	福岡シンフォニーホール	1,128 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 中村学園女子中学・高等学校吹奏楽部 第50回定期演奏会	R6.9.22	共催	福岡シンフォニーホール	1,170 人	青少年等音楽サポート事業 ※共催追加事業
◎ 福岡工業大学付属城東高等学校吹奏楽部 第54回定期演奏会	R6.11.16	共催	福岡シンフォニーホール	1,332 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 西南学院大学管弦楽団 第62回定期演奏会	R6.12.7	共催	福岡シンフォニーホール	710 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 福岡大学交響楽団 第53回定期演奏会	R6.12.20	共催	福岡シンフォニーホール	370 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 九州大学混声合唱団 第61回記念定期演奏会	R6.12.27	共催	福岡シンフォニーホール	764 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 福岡大学応援指導部吹奏楽団 第60回記念演奏会	R6.12.28	共催	福岡シンフォニーホール	882 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 九州大学男声合唱団コールアカデミー 第69回定期演奏会	R7.1.18	共催	福岡シンフォニーホール	590 人	青少年等音楽サポート事業 ※共催追加事業
◎ 福岡県立春日高等学校吹奏楽部 第36回定期演奏会	R7.3.21	共催	福岡シンフォニーホール	1,500 人	青少年等音楽サポート事業
◎ 福岡県立修猷館高等学校吹奏楽部 第46回定期演奏会	R7.3.27	共催	福岡シンフォニーホール	1,240 人	青少年等音楽サポート事業
			小計	29,567 人	

あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出(20事業)

公演名	実施日	形態	会場	入場者数	備考
九響マタニティコンサート	R6.4.28	主催	イベントホール	1,162 人	共同主催：九州交響楽団 ①581人 ②581人
劇場って楽しい！！ 【知的・発達障がい児にむけての劇場体験】	R6.8.3	主催	イベントホール	548 人	午前の部：281人 午後の部：267人 障がいのある子どもたちを対象とした 社会包摂事業
◎ アクロス・クラシックふえすた2024	R6.10.5 ～10.6	主催	福岡シンフォニーホールほか	17,576 人	10/5 九州交響楽団シンフォニックポップ 有料公演：1,608人(小学生以下無料)
◎ 30周年記念事業企画 アクロス・ポップス・ウインドオーケストラ	R6.10.6	主催	福岡シンフォニーホール	1,085 人	クラシックふえすた関連事業 公募による県民参加オーケストラ
◎ 新・福岡古楽音楽祭	R6.10.12 ～10.14	主催	アクロス福岡(一部 あいれふホール)	10,021 人	新・福岡古楽音楽祭実行委員会
第32回福岡県文化賞授賞贈呈式	R6.12.15	主催	国際会議場	70 人	福岡県との共同主催
◎ 西日本オペラ協会「こうもり」	R7.2.14	主催	福岡シンフォニーホール	1,221 人	共同主催：西日本オペラ協会
◎ アクロス 30th Go Round コンサート	通年	主催	アクロス福岡 近隣・天神地区	1,518 人	アクロス近隣で実施する出張ミニコンサート 5回実施(天神中央公園、西鉄福岡駅など)
学校キャラバン特別授業	通年	主催	特別支援学校等	352 人	10回実施(特別支援学校・学級へ)
◎ 音の懸け橋	通年	主催	特別支援学校等	343 人	福岡市文化芸術振興財団との共同実施 4回実施(東福岡2回、若久、今津)
◎ フルーツフェスティバルin福岡2024	R6.11.3	共催	福岡シンフォニーホール	1,292 人	主催：日本フルーツフェスティバル in 福岡実行委員会
◎ ミニこん！ききにこん！あ・ら・かるとコンサート	R6.11.17	共催	円形ホール	200 人	主催：福岡音楽団体連絡会
◎ 西区フィルハーモニーオーケストラ 第26回定期演奏会	R6.6.2	共催	福岡シンフォニーホール	1,083 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 福岡市民オーケストラ 第88回定期演奏会	R6.6.30	共催	福岡シンフォニーホール	1,022 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 福岡OBフィルハーモニー・オーケストラ 第45回定期演奏会	R6.7.21	共催	福岡シンフォニーホール	670 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 福岡市立西陵高等学校管弦楽部 第39回定期演奏会	R6.7.25	共催	福岡シンフォニーホール	1,415 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 橋フィルハーモニー 第18回定期演奏会	R6.9.23	共催	福岡シンフォニーホール	1,157 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 福岡市医師会オーケストラ 第12回定期演奏会	R6.11.10	共催	福岡シンフォニーホール	1,150 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 西南学院OBオーケストラ 第32回定期演奏会	R7.2.23	共催	福岡シンフォニーホール	1,420 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 管弦楽団絃 第26回定期演奏会	R7.3.9	共催	福岡シンフォニーホール	773 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
			小計	44,078 人	
			合計	118,582 人	

- (1)グローバルな感動体験 **33事業(実施予定:32事業)**
(2)演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成 **33事業(実施予定:31事業)**
(3)あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出 **20事業(実施予定:20事業)**

合計 86事業

★事業者数及び入場者数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業者数	40	49	69	71	86
入場者数(人)	37,730	34,049	77,898	97,552	118,582

【令和6年度 情報提供事業の概要】

区分		事業	内容	件数	
伝統工芸品の普及と地域文化・生活文化の推進	匠ギャラリーの活性化	匠ギャラリーの運営	①常設展示(国指定伝統的工芸品及び県指定民芸品) ②企画展開催 ③カフェ、ショップ運営	通年 53 通年	
		英語版パンフレットの活用	近隣宿泊施設や観光案内所に匠ギャラリーのパンフレットを設置。	通年	
	匠ギャラリー内併設ショップにおける免税対応	外国人旅行客等が一定額以上の商品を購入する際、一部ショップにおいて消費税を免除。	通年		
		次世代への継承	夏休み子ども手作り体験	夏休み時期に合わせ、伝統工芸品の職人によるこども向け手作り体験を実施。	1
			匠ギャラリー社会科見学	小学校の社会科見学を受け入れ、伝統的工芸品常設展示の説明を実施。	1
			ともに触れ語り合って体感しよう！福岡の工芸品	障がいの有無に関わらず工芸品そのものや道具等を直接触って鑑賞を楽しむ体感型事業を実施。	通年
	文化・情報の交流拠点づくり	多様な主体と連携した情報の発信	おでかけナビ	自治体と協働し、地域資源を活用したイベントなどを幅広く発信。	通年
Urban Green Festa			緑ある暮らしをテーマに、福岡県の樹木を活用したパネルディスカッション、ワークショップ等を実施。	1	
コミュニケーションエリア企画展			地域文化や観光PRの場として週替わりで企画展を開催。	49	
地域ウィーク			自治体と協働し、観光PRや物産展、歴史講座、地域資源を活用したワークショップや音楽ステージ等を開催。 (宗像、篠栗、大牟田)	3	

	あらゆる人が文化に触れ発信できる機会の創出	みんなのアート展	障がいのある人を対象とした公募展やダンスなどのステージパフォーマンス等を開催。	1
		アクロス・子ども文化芸術体験	文化に触れる機会が少ない“親”“子”を対象とした体験型ワークショップを開催。	1
		メッセージホワイエ企画展	文化芸術活動に取り組む人々に発表の場を提供。	49
にぎわいづくりと地域振興・観光振興	まちづくり 文化と伝統を生かしたにぎわいの	ふるさとの民工芸品展	県指定工芸品全37品目を一堂に展示し、公開ディスカッションや幅広い世代を対象とした制作体験を開催。	1
		匠の饗宴	全国の女性伝統工芸士・作家等30名による工芸品などの展示や対面販売、トークショー、実演等を実施。	1
	力向上 観光案内所の魅	インバウンドに向けた観光案内サービス	62言語対応可能なAI翻訳機を活用して、九州・県内の観光情報を提供。	通年

2 貸借対照表（令和7年3月31日現在）

（1）貸借対照表

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	219,637,761	190,749,577	28,888,184
未収金	105,204,844	141,515,611	△36,310,767
前払金	255,741	229,318	26,423
流動資産合計	325,098,346	332,494,506	△7,396,160
2. 固定資産			
（1）基本財産			
定期預金福岡銀行	1,500,000	1,500,000	0
定期預金西日本シティ銀行	1,500,000	1,500,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
（2）特定資産			
文化振興造成基金積立資産	555,701,910	555,701,910	0
施設管理積立資産	35,000,000	45,000,000	△10,000,000
基幹システム再構築積立資産	30,000,000	0	30,000,000
周年事業積立資産	16,000,000	0	16,000,000
特定資産合計	636,701,910	600,701,910	36,000,000
固定資産合計	639,701,910	603,701,910	36,000,000
資産合計	964,800,256	936,196,416	28,603,840
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	63,398,364	59,373,266	4,025,098
前受金	115,028,188	112,220,288	2,807,900
預り金	59,412,703	77,091,640	△17,678,937
流動負債合計	237,839,255	248,685,194	△10,845,939
負債合計	237,839,255	248,685,194	△10,845,939
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	558,701,910	558,701,910	0
指定正味財産合計	558,701,910	558,701,910	0
（うち基本財産への充当額）	（ 3,000,000 ）	（ 3,000,000 ）	（ 0 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 555,701,910 ）	（ 555,701,910 ）	（ 0 ）
2. 一般正味財産	168,259,091	128,809,312	39,449,779
（うち基本財産への充当額）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 81,000,000 ）	（ 45,000,000 ）	（ 36,000,000 ）
正味財産合計	726,961,001	687,511,222	39,449,779
負債及び正味財産合計	964,800,256	936,196,416	28,603,840

(2) 貸借対照表内訳表

(単位：円)							
科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	貸館・文化・情報	貸館事業会計	友の会事業会計	小 計			
I 資産の部							
1. 流動資産							
現金預金	107,913,358	52,451,976	20,000	52,471,976	59,252,427		219,637,761
未収金	47,237,196	3,219,875	0	3,219,875	54,747,773		105,204,844
前払金	10,988	0	0	0	244,753		255,741
会計間勘定 (借)	0	0	6,081,709	6,081,709	200,000,000	△206,081,709	—
流動資産合計	155,161,542	55,671,851	6,101,709	61,773,560	314,244,953	△206,081,709	325,098,346
2. 固定資産							
(1) 基本財産							
定期預金福岡銀行	0	0	0	0	1,500,000		1,500,000
定期預金西日本シティ銀行	0	0	0	0	1,500,000		1,500,000
基本財産合計	0	0	0	0	3,000,000		3,000,000
(2) 特定資産							
文化振興造成基金積立資産	555,701,910	0	0	0	0		555,701,910
施設管理積立資産	0	0	0	0	35,000,000		35,000,000
基幹システム再構築積立資産	0	0	0	0	30,000,000		30,000,000
周年事業積立資産	16,000,000	0	0	0	0		16,000,000
特定資産合計	571,701,910	0	0	0	65,000,000		636,701,910
固定資産合計	571,701,910	0	0	0	68,000,000		639,701,910
資産合計	726,863,452	55,671,851	6,101,709	61,773,560	382,244,953	△206,081,709	964,800,256
II 負債の部							
1. 流動負債							
未払金	26,084,736	0	0	0	37,313,628		63,398,364
前受金	61,830,970	53,197,218	0	53,197,218	0		115,028,188
預り金	57,866,374	0	0	0	1,546,329		59,412,703
会計間勘定 (貸)	200,000,000	6,081,709	0	6,081,709	0	△206,081,709	—
流動負債合計	345,782,080	59,278,927	0	59,278,927	38,859,957	△206,081,709	237,839,255
負債合計	345,782,080	59,278,927	0	59,278,927	38,859,957	△206,081,709	237,839,255
III 正味財産の部							
1. 指定正味財産							
寄付金	555,701,910	0	0	0	3,000,000		558,701,910
指定正味財産合計	555,701,910	0	0	0	3,000,000		558,701,910
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3,000,000)		(3,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(555,701,910)	(0)	(0)	(0)	(0)		(555,701,910)
2. 一般正味財産	△174,620,538	△3,607,076	6,101,709	2,494,633	340,384,996		168,259,091
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(16,000,000)	(0)	(0)	(0)	(65,000,000)		(81,000,000)
正味財産合計	381,081,372	△3,607,076	6,101,709	2,494,633	343,384,996		726,961,001
負債及び正味財産合計	726,863,452	55,671,851	6,101,709	61,773,560	382,244,953	△206,081,709	964,800,256

3 正味財産増減計算書(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(1) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[60]	[60]	[0]
基本財産運用益	60	60	0
特定資産運用益	[2,052,504]	[573,926]	[1,478,578]
文化振興造成基金積立資産受取利息	2,052,504	573,926	1,478,578
事業収益	[1,074,219,099]	[896,422,758]	[177,796,341]
施設サービス事業収益	(510,794,404)	(534,153,010)	(△ 23,358,606)
施設利用料金収益	346,360,453	371,271,196	△ 24,910,743
付属設備等利用料金収益	83,563,515	88,399,915	△ 4,836,400
付帯サービス収益	76,691,705	70,199,734	6,491,971
その他事業収益	4,178,731	4,282,165	△ 103,434
文化振興事業収益	(63,764,419)	(84,909,860)	(△ 21,145,441)
チケット販売収益	38,239,300	55,742,400	△ 17,503,100
運営受託収益	1,650,000	4,050,000	△ 2,400,000
広告料収益	240,000	270,000	△ 30,000
その他事業収益	23,635,119	24,847,460	△ 1,212,341
情報提供事業収益	(3,489,966)	(5,376,818)	(△ 1,886,852)
その他事業収益	3,489,966	5,376,818	△ 1,886,852
受託事業収益	(496,170,310)	(271,983,070)	(224,187,240)
指定管理受託収益	496,170,310	271,983,070	224,187,240
受取補助金等	[14,280,000]	[30,963,830]	[△ 16,683,830]
受取国庫補助金	14,280,000	30,963,830	△ 16,683,830
雑収益	[7,920]	[2,400]	[5,520]
雑収益	7,920	2,400	5,520
経常収益計	1,090,559,583	927,962,974	162,596,609
(2) 経常費用			
事業費	[1,036,232,581]	[853,430,958]	[182,801,623]
施設サービス事業費	(688,018,681)	(507,341,063)	(180,677,618)
給与手当	32,576,018	30,305,338	2,270,680
福利厚生費	6,809,760	6,474,609	335,151
会議費	38,222	9,209	29,013
旅費交通費	93,058	246,537	△ 153,479
交際費	10,130	10,171	△ 41
通信運搬費	1,655,975	1,606,637	49,338
消耗什器備品費	6,209,892	978,633	5,231,259
消耗品費	5,705,501	2,268,444	3,437,057
修繕費	146,996,387	11,596,623	135,399,764
印刷製本費	535,430	295,944	239,486
光熱水料費	77,648,721	77,949,999	△ 301,278
賃借料	8,260,777	8,013,150	247,627
保険料	560,112	583,495	△ 23,383
諸謝金	1,081,106	715,823	365,283
租税公課	18,994,780	19,334,261	△ 339,481
支払負担金	31,150,344	29,379,209	1,771,135
什器備品譲渡費	10,824,000	0	10,824,000
委託費	338,769,904	317,503,834	21,266,070
支払手数料	50,504	69,147	△ 18,643
貸倒損失	48,060	0	48,060
文化振興事業費	(276,883,801)	(272,852,957)	(4,030,844)
給与手当	51,688,892	48,085,969	3,602,923
福利厚生費	10,805,164	10,273,377	531,787
会議費	205,340	140,445	64,895
旅費交通費	1,431,962	2,116,155	△ 684,193
交際費	16,079	16,144	△ 65
通信運搬費	1,162,883	1,240,858	△ 77,975
消耗什器備品費	0	289,951	△ 289,951
消耗品費	2,764,881	2,625,929	138,952
印刷製本費	114,566	118,215	△ 3,649
賃借料	7,301,507	6,389,876	911,631
保険料	69,697	92,813	△ 23,116
諸謝金	14,594,646	8,118,918	6,475,728
租税公課	3,513,919	3,492,022	21,897
支払負担金	63,378,727	64,450,074	△ 1,071,347
委託費	107,013,285	107,295,587	△ 282,302
支払手数料	9,016,253	11,044,124	△ 2,027,871

広告宣伝費	3,680,000	7,062,500	△ 3,382,500
雑費	126,000	0	126,000
情報提供事業費	(37,835,350)	(40,289,261)	(△ 2,453,911)
給料手当	15,626,873	14,537,615	1,089,258
福利厚生費	3,266,674	3,105,902	160,772
会議費	18,336	3,787	14,549
旅費交通費	106,958	160,602	△ 53,644
交際費	4,859	4,879	△ 20
通信運搬費	489,503	725,967	△ 236,464
消耗什器備品費	0	87,659	△ 87,659
消耗品費	2,038,033	1,921,547	116,486
印刷製本費	197,379	232,679	△ 35,300
賃借料	2,240,555	1,879,951	360,604
保険料	13,801	19,832	△ 6,031
諸謝金	1,578,342	559,064	1,019,278
租税公課	218,201	223,717	△ 5,516
支払負担金	76,102	265,658	△ 189,556
委託費	11,711,107	16,305,031	△ 4,593,924
支払手数料	24,227	33,171	△ 8,944
広告宣伝費	224,400	222,200	2,200
広報事業費	(33,494,749)	(32,947,677)	(547,072)
給与手当	15,626,873	14,537,615	1,089,258
福利厚生費	3,266,674	3,105,902	160,772
会議費	18,336	3,787	14,549
旅費交通費	93,718	33,202	60,516
交際費	4,859	4,879	△ 20
通信運搬費	184,974	185,685	△ 711
消耗什器備品費	0	87,659	△ 87,659
消耗品費	286,823	518,750	△ 231,927
印刷製本費	162,284	23,766	138,518
賃借料	1,793,208	1,780,091	13,117
諸謝金	551,612	365,384	186,228
支払負担金	76,102	71,658	4,444
委託費	11,163,059	10,359,128	803,931
支払手数料	24,227	33,171	△ 8,944
広告宣伝費	242,000	1,837,000	△ 1,595,000
管理費	[14,877,223]	[12,873,694]	[2,003,529]
一般管理費	(8,185,684)	(7,454,848)	(730,836)
給料手当	4,688,061	4,361,284	326,777
福利厚生費	980,001	931,769	48,232
会議費	5,499	1,135	4,364
旅費交通費	10,148	9,834	314
交際費	1,457	1,463	△ 6
通信運搬費	55,492	55,705	△ 213
消耗什器備品費	0	26,297	△ 26,297
消耗品費	81,325	69,502	11,823
印刷製本費	5,501	7,129	△ 1,628
賃借料	537,961	328,766	209,195
諸謝金	155,583	103,015	52,568
租税公課	644,500	242,800	401,700
支払負担金	22,830	21,497	1,333
委託費	990,059	1,284,702	△ 294,643
支払手数料	7,267	9,950	△ 2,683
その他施設管理費	(6,691,539)	(5,418,846)	(1,272,693)
消耗什器備品費	79,223	46,811	32,412
修繕費	1,661,996	455,439	1,206,557
光熱水料費	1,801,941	1,807,682	△ 5,741
支払負担金	715,049	673,953	41,096
委託費	2,433,330	2,434,961	△ 1,631
経常費用計	1,051,109,804	866,304,652	184,805,152
当期経常増減額	39,449,779	61,658,322	△ 22,208,543
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	39,449,779	61,658,322	△ 22,208,543
一般正味財産期首残高	128,809,312	67,150,990	61,658,322
一般正味財産期末残高	168,259,091	128,809,312	39,449,779
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[60]	[60]	[0]

基本財産運用益	60	60	0
特定資産運用益	[2,052,504]	[573,926]	[1,478,578]
文化振興造成基金積立資産受取利息	2,052,504	573,926	1,478,578
一般正味財産への振替額	[2,052,564]	[573,986]	[1,478,578]
一般正味財産への振替額	2,052,564	573,986	1,478,578
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	558,701,910	558,701,910	0
指定正味財産期末残高	558,701,910	558,701,910	0
Ⅲ 正味財産期末残高	726,961,001	687,511,222	39,449,779

(2)正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	貸館・文化・情報事業	貸館事業会計	友の会事業会計	小 計				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[60]	[0]	[60]	
基本財産運用益	0	0	0	0	60	0	60	
特定資産運用益	[2,052,504]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2,052,504]	
文化振興造成基金積立資産受取利息	2,052,504	0	0	0	0	0	2,052,504	
事業収益	[756,275,047]	[302,239,523]	[0]	[302,239,523]	[15,877,449]	[172,920]	[1,074,219,099]	
施設サービス事業収益	(290,595,902)	(220,371,422)	(0)	(220,371,422)	(0)	(172,920)	(510,794,404)	
施設利用料金収益	187,900,570	158,591,223	0	158,591,223	0	131,340	346,360,453	
付属設備等利用料金収益	57,428,150	26,143,945	0	26,143,945	0	8,580	83,563,515	
付帯サービス収益	42,528,955	34,195,750	0	34,195,750	0	33,000	76,691,705	
その他事業収益	2,738,227	1,440,504	0	1,440,504	0	0	4,178,731	
文化振興事業収益	(63,764,419)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(63,764,419)	
チケット販売収益	38,239,300	0	0	0	0	0	38,239,300	
運営受託収益	1,650,000	0	0	0	0	0	1,650,000	
広告料収益	240,000	0	0	0	0	0	240,000	
その他事業収益	23,635,119	0	0	0	0	0	23,635,119	
情報提供事業収益	(3,489,966)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3,489,966)	
その他事業収益	3,489,966	0	0	0	0	0	3,489,966	
受託事業収益	(398,424,760)	(81,868,101)	(0)	(81,868,101)	(15,877,449)	(0)	(496,170,310)	
指定管理受託収益	398,424,760	81,868,101	0	81,868,101	15,877,449	0	496,170,310	
受取補助金等	[14,280,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[14,280,000]	
受取国庫補助金	14,280,000	0	0	0	0	0	14,280,000	
雑収益	[0]	[0]	[0]	[0]	[7,920]	[0]	[7,920]	
雑収益	0	0	0	0	7,920	0	7,920	
経常収益計	772,607,551	302,239,523	0	302,239,523	15,885,429	172,920	1,090,559,583	
(2) 経常費用								
事業費	[744,952,996]	[291,279,585]	[0]	[291,279,585]	[0]	[0]	[1,036,232,581]	
施設サービス事業費	(396,739,096)	(291,279,585)	(0)	(291,279,585)	(0)	(0)	(688,018,681)	
給与手当	18,511,833	14,064,185	0	14,064,185	0	0	32,576,018	
福利厚生費	3,869,753	2,940,007	0	2,940,007	0	0	6,809,760	
会議費	21,720	16,502	0	16,502	0	0	38,222	
旅費交通費	52,899	40,159	0	40,159	0	0	93,058	
交際費	5,757	4,373	0	4,373	0	0	10,130	
通信運搬費	941,967	714,008	0	714,008	0	0	1,655,975	
消耗什器備品費	3,533,552	2,676,340	0	2,676,340	0	0	6,209,892	
消耗品費	3,246,017	2,459,484	0	2,459,484	0	0	5,705,501	
修繕費	83,643,505	63,352,882	0	63,352,882	0	0	146,996,387	
印刷製本費	304,632	230,798	0	230,798	0	0	535,430	
光熱水料費	44,184,898	33,463,823	0	33,463,823	0	0	77,648,721	
賃借料	4,697,639	3,563,138	0	3,563,138	0	0	8,260,777	
保険料	318,707	241,405	0	241,405	0	0	560,112	
諸謝金	614,355	466,751	0	466,751	0	0	1,081,106	
租税公課	16,120,003	2,874,777	0	2,874,777	0	0	18,994,780	
支払負担金	17,725,530	13,424,814	0	13,424,814	0	0	31,150,344	
什器備品譲渡費	6,158,856	4,665,144	0	4,665,144	0	0	10,824,000	
委託費	192,758,773	146,011,131	0	146,011,131	0	0	338,769,904	
支払手数料	28,700	21,804	0	21,804	0	0	50,504	
貸倒損失	0	48,060	0	48,060	0	0	48,060	
文化振興事業費	(276,883,801)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(276,883,801)	
給与手当	51,688,892	0	0	0	0	0	51,688,892	
福利厚生費	10,805,164	0	0	0	0	0	10,805,164	
会議費	205,340	0	0	0	0	0	205,340	
旅費交通費	1,431,962	0	0	0	0	0	1,431,962	
交際費	16,079	0	0	0	0	0	16,079	
通信運搬費	1,162,883	0	0	0	0	0	1,162,883	
消耗品費	2,764,881	0	0	0	0	0	2,764,881	
印刷製本費	114,566	0	0	0	0	0	114,566	
賃借料	7,301,507	0	0	0	0	0	7,301,507	
保険料	69,697	0	0	0	0	0	69,697	
諸謝金	14,594,646	0	0	0	0	0	14,594,646	
租税公課	3,513,919	0	0	0	0	0	3,513,919	
支払負担金	63,378,727	0	0	0	0	0	63,378,727	
委託費	107,013,285	0	0	0	0	0	107,013,285	
支払手数料	9,016,253	0	0	0	0	0	9,016,253	
広告宣伝費	3,680,000	0	0	0	0	0	3,680,000	
雑費	126,000	0	0	0	0	0	126,000	
情報提供事業費	(37,835,350)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(37,835,350)	
給料手当	15,626,873	0	0	0	0	0	15,626,873	
福利厚生費	3,266,674	0	0	0	0	0	3,266,674	
会議費	18,336	0	0	0	0	0	18,336	
旅費交通費	106,958	0	0	0	0	0	106,958	
交際費	4,859	0	0	0	0	0	4,859	
通信運搬費	489,503	0	0	0	0	0	489,503	
消耗品費	2,038,033	0	0	0	0	0	2,038,033	
印刷製本費	197,379	0	0	0	0	0	197,379	
賃借料	2,240,555	0	0	0	0	0	2,240,555	
保険料	13,801	0	0	0	0	0	13,801	
諸謝金	1,578,342	0	0	0	0	0	1,578,342	
租税公課	218,201	0	0	0	0	0	218,201	
支払負担金	76,102	0	0	0	0	0	76,102	
委託費	11,711,107	0	0	0	0	0	11,711,107	
支払手数料	24,227	0	0	0	0	0	24,227	
広告宣伝費	224,400	0	0	0	0	0	224,400	
広報事業費	(33,494,749)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(33,494,749)	
給与手当	15,626,873	0	0	0	0	0	15,626,873	
福利厚生費	3,266,674	0	0	0	0	0	3,266,674	
会議費	18,336	0	0	0	0	0	18,336	
旅費交通費	93,718	0	0	0	0	0	93,718	
交際費	4,859	0	0	0	0	0	4,859	
通信運搬費	184,974	0	0	0	0	0	184,974	
消耗品費	286,823	0	0	0	0	0	286,823	
印刷製本費	162,284	0	0	0	0	0	162,284	
賃借料	1,793,208	0	0	0	0	0	1,793,208	
諸謝金	551,612	0	0	0	0	0	551,612	
支払負担金	76,102	0	0	0	0	0	76,102	
委託費	11,163,059	0	0	0	0	0	11,163,059	
支払手数料	24,227	0	0	0	0	0	24,227	
広告宣伝費	242,000	0	0	0	0	0	242,000	
管理費	[0]	[0]	[0]	[0]	[15,050,143]	[172,920]	[14,877,223]	
一般管理費	(0)	(0)	(0)	(0)	(8,358,604)	(172,920)	(8,185,684)	
給料手当	0	0	0	0	4,688,061	0	4,688,061	
福利厚生費	0	0	0	0	980,001	0	980,001	
会議費	0	0	0	0	5,499	0	5,499	
旅費交通費	0	0	0	0	10,148	0	10,148	
交際費	0	0	0	0	1,457	0	1,457	
通信運搬費	0	0	0	0	55,492	0	55,492	
消耗品費	0	0	0	0	81,325	0	81,325	
印刷製本費	0	0	0	0	5,501	0	5,501	
賃借料	0	0	0	0	710,881	172,920	537,961	
諸謝金	0	0	0	0	155,583	0	155,583	
租税公課	0	0	0	0	644,500	0	644,500	
支払負担金	0	0	0	0	22,830	0	22,830	
委託費	0	0	0	0	990,059	0	990,059	
支払手数料	0	0	0	0	7,267	0	7,267	
その他施設管理費	(0)	(0)	(0)	(0)	(6,691,539)	(0)	(6,691,539)	
消耗什器備品費	0	0	0	0	79,223	0	79,223	
修繕費	0	0	0	0	1,661,996	0	1,661,996	
光熱水料費	0	0	0	0	1,801,941	0	1,801,941	
支払負担金	0	0	0	0	715,049	0	715,049	
委託費	0	0	0	0	2,433,330	0	2,433,330	
経常費用計	744,952,996	291,279,585	0	291,279,585	15,050,143	172,920	1,051,109,804	
当期経常増減額	27,654,555	10,959,938	0	10,959,938	835,286	0	39,449,779	
2. 経常外増減の部								

(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	27,654,555	10,959,938	0	10,959,938	835,286	0	39,449,779
他会計振替額	5,479,969	△10,959,938	0	△10,959,938	5,479,969	0	—
当期一般正味財産増減額	33,134,524	0	0	0	6,315,255	0	39,449,779
一般正味財産期首残高	△207,755,062	△3,607,076	6,101,709	2,494,633	334,069,741	0	128,809,312
一般正味財産期末残高	△174,620,538	△3,607,076	6,101,709	2,494,633	340,384,996	0	168,259,091
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[60]	[0]	[60]
基本財産運用益	0	0	0	0	60	0	60
特定資産運用益	[2,052,504]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2,052,504]
文化振興造成基金積立資産受取利息	2,052,504	0	0	0	0	0	2,052,504
一般正味財産への振替額	[2,052,504]	[0]	[0]	[0]	[60]	[0]	[2,052,564]
一般正味財産への振替額	2,052,504	0	0	0	60	0	2,052,564
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	555,701,910	0	0	0	3,000,000	0	558,701,910
指定正味財産期末残高	555,701,910	0	0	0	3,000,000	0	558,701,910
III 正味財産期末残高	381,081,372	△3,607,076	6,101,709	2,494,633	343,384,996	0	726,961,001

4 財産目録(令和7年3月31日現在)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	(単位：円) 金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金	476,680
	預金	福岡銀行天神町支店	運転資金	75,627,095
		西日本シティ銀行天神支店	運転資金	143,140,386
		福岡中央郵便局	運転資金	393,600
	未収金	事業経費・管理経費に対するもの	施設利用者の未受領分等	105,204,844
	前払金	事業経費・管理経費に対するもの	書庫賃借料の前払い分等	255,741
流動資産合計				325,098,346
(固定資産)				
基本財産	基本財産			
	定期預金	福岡銀行天神町支店	管理運営用財産	1,500,000
	定期預金	西日本シティ銀行天神支店	管理運営用財産	1,500,000
特定資産	文化振興造成基金積立資産			
	普通預金	福岡銀行天神町支店	公益目的保有財産	701,910
	定期預金	福岡銀行天神町支店	公益目的保有財産	127,000,000
	定期預金	西日本シティ銀行天神支店	公益目的保有財産	128,000,000
	投資有価証券	大和証券福岡支店	公益目的保有財産	200,000,000
	投資有価証券	野村證券福岡支店	公益目的保有財産	100,000,000
	施設管理積立資産			
	普通預金	福岡銀行天神町支店	管理運営用財産	35,000,000
	基幹システム再構築積立資産			
	普通預金	福岡銀行天神町支店	管理運営用財産	30,000,000
	周年事業積立資産			
	普通預金	福岡銀行天神町支店	公益目的保有財産	16,000,000
固定資産合計				639,701,910
資産合計				964,800,256
(流動負債)				
	未払金	事業経費・管理経費に対するもの	年間保守費用等	63,398,364
	前受金	事業経費・管理経費に対するもの	施設利用料金等	115,028,188
	預り金			
	職員預り金	管理経費に対するもの	職員の社会保険料等	1,503,549
	実行委員会預り金	事業経費に対するもの	アクロス福岡自主文化共催事業実行委員会主催公演のチケット売上	2,108,500
	共催等チケット受託預り金	事業経費に対するもの	共催公演等のチケット売上の預り金	44,643,500
	チケット受託預り金	事業経費に対するもの	施設利用者主催公演のチケット売上	9,888,300
	その他預り金	事業経費に対するもの	施設利用者の誤入金等	1,268,854
流動負債合計				237,839,255
負債合計				237,839,255
正味財産				726,961,001

5 収支計算書(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)
(1)収支計算書

按分後
(単位：円)

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①基本財産運用収入	[0]	[60]	[60]	[60]	[0]
基本財産運用収入	0	60	60	60	0
②特定資産運用収入	[690,000]	[1,362,504]	[2,052,504]	[2,052,504]	[0]
文化振興造成基金積立資産利息収入	690,000	1,362,504	2,052,504	2,052,504	0
③会費収入	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
友の会会費収入	0	0	0	0	0
④事業収入	[1,004,377,000]	[69,842,099]	[1,074,219,099]	[1,074,219,099]	[0]
施設サービス事業収入	(540,735,000)	(△ 29,940,596)	(510,794,404)	(510,794,404)	(0)
施設利用料金収入	374,714,000	△ 28,353,547	346,360,453	346,360,453	0
付属設備等利用料金収入	81,015,000	2,548,515	83,563,515	83,563,515	0
付帯サービス収入	80,611,000	△ 3,919,295	76,691,705	76,691,705	0
その他事業収入	4,395,000	△ 216,269	4,178,731	4,178,731	0
文化振興事業収入	(52,624,000)	(11,140,419)	(63,764,419)	(63,764,419)	(0)
チケット販売収入	33,174,000	5,065,300	38,239,300	38,239,300	0
運営受託収入	1,650,000	0	1,650,000	1,650,000	0
広告料収入	0	240,000	240,000	240,000	0
その他事業収入	17,800,000	5,835,119	23,635,119	23,635,119	0
情報提供事業収入	(3,484,000)	(5,966)	(3,489,966)	(3,489,966)	(0)
広告料収入	240,000	△ 240,000	0	0	0
その他事業収入	3,244,000	245,966	3,489,966	3,489,966	0
受託事業収入	(407,534,000)	(88,636,310)	(496,170,310)	(496,170,310)	(0)
指定管理受託収入	407,534,000	88,636,310	496,170,310	496,170,310	0
⑤補助金等収入	[5,029,000]	[9,251,000]	[14,280,000]	[14,280,000]	[0]
国庫金補助金収入	5,029,000	9,251,000	14,280,000	14,280,000	0
⑥雑収入	[0]	[7,920]	[7,920]	[7,920]	[0]
雑収入	0	7,920	7,920	7,920	0
事業活動収入計	1,010,096,000	80,463,583	1,090,559,583	1,090,559,583	0
2. 事業活動支出					
①事業費支出	[994,856,708]	[41,375,873]	[1,036,232,581]	[1,036,232,581]	[0]
施設サービス事業費支出	(600,022,757)	(87,995,924)	(688,018,681)	(688,018,681)	(0)
給料手当支出	43,481,136	△ 10,905,118	32,576,018	32,576,018	0
福利厚生費支出	8,420,242	△ 1,610,482	6,809,760	6,809,760	0
会議費支出	26,287	11,935	38,222	38,222	0
旅費交通費支出	516,785	△ 423,727	93,058	93,058	0
交際費支出	17,615	△ 7,485	10,130	10,130	0
通信運搬費支出	3,071,654	△ 1,415,679	1,655,975	1,655,975	0
消耗什器備品費	0	6,209,892	6,209,892	6,209,892	0
消耗品費支出	431,432	5,274,069	5,705,501	5,705,501	0
修繕費支出	56,300,000	90,696,387	146,996,387	146,996,387	0
印刷製本費支出	1,487,859	△ 952,429	535,430	535,430	0
光熱水料費支出	93,531,668	△ 15,882,947	77,648,721	77,648,721	0
食糧費支出	27,100	△ 27,100	0	0	0
賃借料支出	8,173,070	87,707	8,260,777	8,260,777	0
保険料支出	557,194	2,918	560,112	560,112	0
諸謝金支出	1,259,066	△ 177,960	1,081,106	1,081,106	0
租税公課支出	15,875,555	3,119,225	18,994,780	18,994,780	0
負担金支出	31,384,248	△ 233,904	31,150,344	31,150,344	0
什器備品譲渡費支出	0	10,824,000	10,824,000	10,824,000	0
委託費支出	335,374,313	3,395,591	338,769,904	338,769,904	0
手数料支出	87,533	△ 37,029	50,504	50,504	0
貸倒支出	0	48,060	48,060	48,060	0
文化振興事業費支出	(305,184,166)	(△ 28,300,365)	(276,883,801)	(276,883,801)	(0)
給料手当支出	68,992,210	△ 17,303,318	51,688,892	51,688,892	0
福利厚生費支出	13,360,530	△ 2,555,366	10,805,164	10,805,164	0
会議費支出	371,710	△ 166,370	205,340	205,340	0
旅費交通費支出	1,974,050	△ 542,088	1,431,962	1,431,962	0
交際費支出	27,950	△ 11,871	16,079	16,079	0
通信運搬費支出	2,019,820	△ 856,937	1,162,883	1,162,883	0
消耗品費支出	2,701,560	63,321	2,764,881	2,764,881	0
印刷製本費支出	442,470	△ 327,904	114,566	114,566	0
食糧費支出	123,000	△ 123,000	0	0	0
賃借料支出	8,446,100	△ 1,144,593	7,301,507	7,301,507	0
保険料支出	121,396	△ 51,699	69,697	69,697	0
諸謝金支出	15,052,780	△ 458,134	14,594,646	14,594,646	0
租税公課支出	3,461,370	52,549	3,513,919	3,513,919	0
負担金支出	63,995,520	△ 616,793	63,378,727	63,378,727	0
委託費支出	110,478,810	△ 3,465,525	107,013,285	107,013,285	0
手数料支出	10,754,890	△ 1,738,637	9,016,253	9,016,253	0
広告宣伝費支出	2,860,000	820,000	3,680,000	3,680,000	0
雑支出	0		126,000	126,000	0
情報提供事業費支出	(45,707,385)	(△ 7,872,035)	(37,835,350)	(37,835,350)	(0)
給料手当支出	20,858,110	△ 5,231,237	15,626,873	15,626,873	0
福利厚生費支出	4,039,230	△ 772,556	3,266,674	3,266,674	0
会議費支出	12,610	5,726	18,336	18,336	0
旅費交通費支出	363,550	△ 256,592	106,958	106,958	0
交際費支出	8,450	△ 3,591	4,859	4,859	0
通信運搬費支出	461,620	27,883	489,503	489,503	0
消耗品費支出	2,447,960	△ 409,927	2,038,033	2,038,033	0
印刷製本費支出	448,770	△ 251,391	197,379	197,379	0
食糧費支出	13,000	△ 13,000	0	0	0
賃借料支出	1,878,100	362,455	2,240,555	2,240,555	0
保険料支出	14,410	△ 609	13,801	13,801	0
諸謝金支出	1,892,980	△ 314,638	1,578,342	1,578,342	0
租税公課支出	94,575	123,626	218,201	218,201	0
負担金支出	86,320	△ 10,218	76,102	76,102	0
委託費支出	11,418,710	292,397	11,711,107	11,711,107	0
手数料支出	47,990	△ 23,763	24,227	24,227	0
広告宣伝費支出	1,621,000	△ 1,396,600	224,400	224,400	0
広報事業費支出	(43,942,400)	(△ 10,447,651)	(33,494,749)	(33,494,749)	(0)
給料手当支出	20,858,110	△ 5,231,237	15,626,873	15,626,873	0
福利厚生費支出	4,039,230	△ 772,556	3,266,674	3,266,674	0
会議費支出	12,610	5,726	18,336	18,336	0
旅費交通費支出	270,550	△ 176,832	93,718	93,718	0

交際費支出	8,450	△ 3,591	4,859	4,859	0
通信運搬費支出	217,620	△ 32,646	184,974	184,974	0
消耗品費支出	706,960	△ 420,137	286,823	286,823	0
印刷製本費支出	133,770	28,514	162,284	162,284	0
食糧費支出	13,000	△ 13,000	0	0	0
賃借料支出	1,842,100	△ 48,892	1,793,208	1,793,208	0
諸謝金支出	1,023,980	△ 472,368	551,612	551,612	0
負担金支出	86,320	△ 10,218	76,102	76,102	0
委託費支出	14,487,710	△ 3,324,651	11,163,059	11,163,059	0
手数料支出	41,990	△ 17,763	24,227	24,227	0
広告宣伝費支出	200,000	42,000	242,000	242,000	0
友の会事業費支出	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
②管理費支出	[15,239,292]	[△ 362,069]	[14,877,223]	[14,877,223]	[0]
一般管理費支出	(9,175,920)	(△ 990,236)	(8,185,684)	(8,185,684)	(0)
給料手当支出	6,257,433	△ 1,569,372	4,688,061	4,688,061	0
福利厚生費支出	1,211,769	△ 231,768	980,001	980,001	0
会議費支出	3,783	1,716	5,499	5,499	0
旅費交通費支出	13,065	△ 2,917	10,148	10,148	0
交際費支出	2,535	△ 1,078	1,457	1,457	0
通信運搬費支出	65,286	△ 9,794	55,492	55,492	0
消耗品費支出	62,088	19,237	81,325	81,325	0
印刷製本費支出	40,131	△ 34,630	5,501	5,501	0
食糧費支出	3,900	△ 3,900	0	0	0
賃借料支出	552,630	△ 14,669	537,961	537,961	0
諸謝金支出	181,194	△ 25,611	155,583	155,583	0
租税公課支出	19,500	625,000	644,500	644,500	0
負担金支出	25,896	△ 3,066	22,830	22,830	0
委託費支出	724,113	265,946	990,059	990,059	0
手数料支出	12,597	△ 5,330	7,267	7,267	0
その他施設管理費支出	(6,063,372)	(628,167)	(6,691,539)	(6,691,539)	(0)
消耗什器備品費支出	0	79,223	79,223	79,223	0
修繕費支出	0	1,661,996	1,661,996	1,661,996	0
光熱水料費支出	2,971,332	△ 1,169,391	1,801,941	1,801,941	0
負担金支出	717,696	△ 2,647	715,049	715,049	0
委託費支出	2,374,344	58,986	2,433,330	2,433,330	0
事業活動支出計	1,010,096,000	41,013,804	1,051,109,804	1,051,109,804	0
事業活動収支差額	0	39,449,779	39,449,779	39,449,779	0
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入	[0]	[245,000,000]	[245,000,000]	[245,000,000]	[0]
文化振興造成基金積立資産取崩収入	(0)	(200,000,000)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
定期預金福岡銀行取崩収入	0	100,000,000	100,000,000	100,000,000	0
定期預金西日本シィ銀行取崩収入	0	100,000,000	100,000,000	100,000,000	0
施設管理積立資産取崩収入	(0)	(45,000,000)	(45,000,000)	(45,000,000)	(0)
普通預金福岡銀行取崩収入	0	45,000,000	45,000,000	45,000,000	0
投資活動収入計	0	245,000,000	245,000,000	245,000,000	0
2. 投資活動支出					
特定資産取得支出	[0]	[281,000,000]	[281,000,000]	[281,000,000]	[0]
文化振興造成基金積立資産取得支出	0	(200,000,000)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
投資有価証券支出	0	200,000,000	200,000,000	200,000,000	0
施設管理積立資産取得支出	(0)	(35,000,000)	(35,000,000)	(35,000,000)	(0)
普通預金福岡銀行取得支出	0	35,000,000	35,000,000	35,000,000	0
基幹システム再構築積立資産取得支出	(0)	(30,000,000)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
普通預金福岡銀行取得支出	0	30,000,000	30,000,000	30,000,000	0
周年事業積立資産取得支出	(0)	(16,000,000)	(16,000,000)	(16,000,000)	(0)
普通預金福岡銀行取得支出	0	16,000,000	16,000,000	16,000,000	0
投資活動支出計	0	281,000,000	281,000,000	281,000,000	0
投資活動収支差額	0	△ 36,000,000	△ 36,000,000	△ 36,000,000	0
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
当期収支差額	0	3,449,779	3,449,779	3,449,779	0
前期繰越収支差額	83,809,312	83,809,312	83,809,312	83,809,312	0
次期繰越収支差額	83,809,312	87,259,091	87,259,091	87,259,091	0

(2)収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	190,749,577	219,637,761
未収金	141,515,611	105,204,844
前払金	229,318	255,741
合 計	332,494,506	325,098,346
未払金	59,373,266	63,398,364
前受金	112,220,288	115,028,188
預り金	77,091,640	59,412,703
合 計	248,685,194	237,839,255
次期繰越収支差額	83,809,312	87,259,091

第3 令和7年度事業計画について

1 事業計画

県内の景気や個人消費は緩やかに回復していると言われるものの、人手不足や物価上昇が続いており、福岡市内では多目的ホールを備えた文化施設や天神地区の新オフィスビルといった競合施設の相次ぐ開業による貸館事業の競争激化など、財団を取り巻く環境は厳しさが続いている。

こうした中、令和7年度はアクロス福岡開館30周年の締めくくりの年となる。当財団の使命である県民の心豊かな生活と活力ある地域社会の実現を目指し、第5次中期経営計画に基づき、これまでの感謝を込めたバースデーコンサートをはじめ、質の高い文化を県民に提供するとともに、あらゆる人が等しく文化を享受できる環境整備に努めていく。

また、令和7年度は、第4期指定管理期間（令和3年度～令和7年度）及び第5次中期経営計画の最終年度となることから、今後、財団が取り組むべき方向性や果たすべき役割を見据え、令和8年度からの指定管理受託に向けた準備を進めるとともに、次期中期経営計画を策定し、将来への種まきを進めていく。

I 施設サービス（貸館）事業

国際会議、国内学会及び全国大会等の開催を目的とした空室状況の問合せや見積り依頼はコロナ禍前の状況に戻ってきているため、積極的な営業誘致活動を図る。

また、年々稼働率が低下傾向にある一部施設については、施設の特性を活かした提案等を行い、利用促進に取り組む。

日常的な防火・防災訓練の実施等による防災管理体制の継続的な充実を図るとともに、引き続き福岡県と密な連携を図り、「個別施設計画」に基づく施設の維持・保全に努める。

1 積極的な営業誘致

コロナ禍前の状況に戻りつつある、国際会議・医学会／工学会／情報学会・全国大会等のイベント誘致を積極的に行う。

また、過去の実績等を検証した上で、需要が想定される利用者を対象にした催事誘致を行う。

- (1) 福岡観光コンベンションビューローとの連携による大学や学会事務局への訪問を強化し、使用方法や見積りを積極的に提案する。
- (2) 周辺類似施設との情報交換による営業情報収集と、会議専門運営機関（PCO）との連携強化による優良顧客の誘致を強化する。
- (3) 過去の利用実績や他会場での実績（表彰式、入学式、卒業式、検定試験、入学試験、株主総会、会社説明会等）を踏まえ、福岡シンフォニーホール、国際会議場及び会議室の利用が想定される新規顧客、既存顧客に対し、催事誘致を行う。
- (4) 利用を検討している顧客に実際の利用イメージが具体的に伝わるよう、施設の広さやレイアウト、必要な機材・備品が一目で理解できるような写真を掲載するなど、パンフレットやホームページ等の見直しを図る。【新規】

2 利用者サービスの充実強化・利用しやすさの向上

施設利用者及び来場者の満足度を一層高めるために、質の高いサービスや設備向上に努める。

(1) イベントホールの一般照明のLED化及び音響設備更新を行う。

(2) 顧客ニーズの高い設備の更新等を検討する。

- ・映像機器の更新（イベントホール、大会議室）
- ・トイレ洋式化及び温水便座化（イベントホール）
- ・Free Wi-Fi 新規追加工事

3 施設機能の充実

施設の維持管理・補修についてビル管理会社と連携を図りながら、より安全で快適な空間の提供に取り組む。

併せて、「安全の確保、トラブルの防止」を基本とした保守点検の遵守、日常的な防災意識・防災体制の充実強化に向けた取組を行う。

(1) アクロス福岡共同防火・防災管理協議会主催の防災訓練への積極的参加

(2) 防火・防災について、より具体的な事態を想定した財団独自の研修実施

(3) 福岡県警の協力を得た防犯研修・防犯訓練の実施

(4) 「個別施設計画」に基づく施設の維持・保全

II 文化振興事業

音楽・舞台芸術を中心とした文化芸術の振興を図るため、「グローバルな感動体験」、「演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成」及び「あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出」の3つの事業理念を掲げ、バランスのとれた事業展開を行う。

令和7年度はアクロス福岡開館30周年記念事業の集大成として、無料招待公演「アクロス・バースデーコンサート」を実施するほか、引き続き質の高い音楽・舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。また、あらゆる人が等しく文化を享受できる機会を創出する社会包摂事業や若い世代を対象とした育成事業の取組を強化する。

総事業数は、主催・共催により76事業を予定しており、コロナ禍前の令和元年度実績77事業とほぼ同規模を見込んでいる。

《 3つの理念に基づく事業展開 》 計76事業

○ グローバルな感動体験

(質の高い音楽・舞台芸術の鑑賞機会の提供)

「バーミンガム市交響楽団」、「第19回ショパン国際ピアノ・コンクール入賞者ガラコンサート」、「NHK交響楽団」などのオーケストラ公演のほか、現代最高のチェリスト「ヨーヨー・マ チェロリサイタル」など27事業を主催・共催する。

○ 演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成

(次世代を担う若い音楽家とそれを支える人の育成と環境整備)

学校キャラバン事業、舞台芸術感動体験事業、アクロス国際音楽セミナー、福岡ジュニアオーケストラ、ランチタイムコンサートなど28事業を主催・共催する。

○ あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出

(あらゆる人が等しく文化を享受できる場として機能するため、多様な分野と協働・連携した事業を展開)

アクロス・バースデーコンサート、アクロス・クラシックふえすた、新・福岡古楽音楽祭、「劇場って楽しい!!」、「声明とカウンターテナーによる祈りの音楽」など21事業を主催・共催する。

1 クラシック音楽の裾野を広げるための取組

(1) アクロス・バースデーコンサート【新規】

開館30周年の感謝を込めて、シンフォニーホールの監修者であり、ベルリン・フィル元コンサートマスターの安永徹氏等が九州交響楽団と共演する豪華コンサートに

1,800名を無料招待する。

また、コンサートに先立ち「福岡シンフォニーホール・オープンステージ」を開催し、300名を無料招待する。シンフォニーホールのステージを解放し、バックヤードやステージを自由に見学できるほか、写真撮影やミニコンサートなども実施し、世界一流の演奏家が立った舞台を体験できるプレイベントを実施する。

(2) アクロス・クラシックふえすた

クラシック音楽に気軽に親しみ、一日中家族連れで楽しめるよう、館内のホールを会場に有料・無料のコンサートや音楽に関する多様なイベントを開催する。バックステージツアーやヴァイオリン体験などの参加型企画や企業と連携した楽器の展示・試奏コーナーを設置し、音楽を身近に感じる空間づくりを目指す。

(3) アウトリーチ事業の充実

県内の文化施設や美術館等と協働で実施する「ミュージック・キャラバン」や、ヴァイオリンやピアノのプロの演奏家を小学校へ派遣し、楽器演奏体験をメインとした出前授業「学校キャラバン」など、県内の様々な地域でアウトリーチ事業を実施する。

2 青少年等を対象とした育成事業

(1) アクロス国際音楽セミナー

国際コンクール等を目指す若者を対象としたセミナーを実施する。

(2) ヴァイオリンセミナー

講師に景山誠治氏を迎え、プロの音楽家を目指す若者を対象としたセミナーを実施する。あわせて、成果発表を兼ねたスプリングコンサートを開催する。

(3) 福岡ジュニアオーケストラ

子どもたちのオーケストラ活動を支援する。引き続き、初心者対象の「福岡ジュニアオーケストラアカデミー」を実施し、子どもたちが参加しやすい環境を整備する。

3 舞台芸術を支える人材の育成

県内公立文化施設の職員等を対象とした文化芸術事業に関する意識と企画力・実践力を高めるための研修「文化芸術イノベーションアカデミー」を令和6年度に引き続き実施し、専門的人材の育成を推進する。

4 音楽を通した社会包摂への取組

(1) 学校キャラバン特別授業

特別支援学校を対象とした音楽の出前授業。プロのパーカッション奏者やダンサーを派遣し、参加型の特別授業を実施する。

(2) 劇場って楽しい！！

知的障がい児・発達障がい児を対象とした劇場体験プログラム。県内外のホールと協働で社会包摂事業の企画準備等の研修（九州ネットワーク会議）を実施するなど、アクロスの持つ知見や運営ノウハウを共有。

5 各種団体との連携強化

地元のオーケストラ九州交響楽団との事業連携のほか、公演事業に対する地域企業・団体の協賛獲得など地域サポート体制の一層の強化に努める。

また県内、九州管内、全国の類似ホールと情報共有を緊密に行い、事業運営に活かす。

III 情報提供事業

伝統工芸の振興に取り組む地域・伝統文化活動団体に対して発表の場を提供し、活動の支援と交流の促進を図るとともに、県民が文化芸術を鑑賞し体験する機会を創出する。

また、文化芸術団体、文化施設、まちづくり団体及び観光分野等地域との連携による伝統工芸や地域文化、県内各地域の魅力の発信を通じ、にぎわいづくりと地域振興に努める。

さらには、障がいのある人に対し、文化芸術の鑑賞や創造の機会、作品等を発表する場を提供し、活動を支援する。

1 伝統工芸品の普及と地域文化・生活文化の推進

(1) 匠ギャラリーの活性化

- ・国、県指定工芸品の常設展示のほか、歴史や作業工程を紹介するテーマ展示や工芸作家による企画展等を開催する。また、1階ではカフェやショップを運営する。
- ・小学生から大人までが障がいの有無に関わらず、伝統工芸品そのものや素材、道具などに直接触れることのできる体感型事業を実施する。
- ・福岡県と連携して伝統的工芸品の企画展を開催する。

(2) インバウンドを見据えた伝統工芸品と地域文化・生活文化の魅力発信

- ・近隣宿泊施設や観光案内所等へ外国語パンフレットを配架・設置する。また、新たにクルーズ船寄港旅行客に対し匠ギャラリーのチラシを配布する。
- ・匠ギャラリー内の一部ショップにおいて、外国人観光客等が一定額以上の商品を購入する際、消費税を免除する免税対応を実施する。

(3) 次世代への継承

- ・小中学校等の社会科見学を受け入れ、伝統的工芸品常設展示の説明や制作体験を行う。
- ・夏休みに伝統工芸品の職人による子ども向け手作り体験を実施する。
- ・小学生から大人までが障がいの有無に関わらず伝統工芸品そのものや素材、道具などに直接触れることのできる体感型事業を実施する。（再掲）
- ・お正月に地域に根付く日本の伝統文化の体験や鑑賞の場を創出する。

2 文化・情報の交流拠点づくり

(1) 多様な主体と連携した情報の発信

- ・イベント情報発信サイト「アクロスおでかけナビ」を運営する。
- ・県内の自治体と協働し、地域の文化や観光資源等を紹介する。

(2) あらゆる人が文化を享受できる環境整備

- ・障がいのある人の文化芸術活動を支援するため、九州障害者アートサポートセンターと協働し、公募展やステージパフォーマンス等を開催する。
- ・さまざまな理由で文化芸術に触れる機会の少ない子どもたちが、それらに触れ楽しむことができる機会を創出する。
- ・メッセージホワイエ等を活用し、文化活動者に作品発表の場を提供する。
- ・県内の学校（特別支援学校を含む）や部活動が行う文化芸術活動を支援するため、交流ギャラリーを発表の場として提供するとともに、会場使用料等の助成を行う。【新規】

3 にぎわいづくりと地域振興・観光振興

(1) 文化と伝統を生かしたにぎわいのまちづくり

- ・地域に根付く伝統文化や生活文化等の鑑賞や体験、学びの場を創出する。（再掲）

(2) 観光案内所の魅力向上

- ・県内外の自治体や民間企業等が観光資源を活用して実施するイベント情報を収集し、「アクロスおでかけナビ」で提供する。

4 広報活動の推進

(1) 効果的な広報の実施

- ・アクロス福岡のイベント情報・チケット発売情報等をタイムリーに届けるため、WEBメンバーズ向けメールマガジンを月2～3回程度配信するとともに、公式SNS（Facebook、X、Instagram）やホームページを活用し、公演の見どころを動画等でできめ細かに発信する等、集客につながる広報を展開する。
- ・マスコミへの個別プロモーションやマスコミキャラバン等を実施し、マスコミとの関係を強化することで、継続的な掲載獲得につなげる。
- ・プレスリリースについては、イベント毎のターゲットを明確化し、マスコミ媒体を選別した戦略的なWEB配信を実施する。

(2) ホームページ特設サイト「アクロスラボ」の立ち上げ【新規】

文化芸術を通じた社会包摂事業や次代を担う人の育成事業等、社会的価値の高い取組を紹介する「アクロスラボ」をホームページ上に新たに開設し、県内外に広く発信する。

(3) 広聴機能の充実

施設利用者や主催事業のアンケートのほか、ホームページや電話等を通じて寄せられる県民や利用者の意見を的確に把握した上で、改善に努め、利用者の満足度の向上及び新たな顧客確保につなげる。

【令和7年度 文化振興事業の概要】

→主催事業(38事業)・共催(38事業) 計76事業実施

◎は、福岡県・福岡市等との実行委員会事業(計:36事業)

グローバルな感動体験(27事業)

	公 演 名	開催時期	形態	内 容
オー ケ ス ト ラ	山田和樹指揮 バーミンガム市交響楽団	R7.7.4	主催	山田和樹が音楽監督を務める英国の名門オーケストラが登場。ソリストには期待のピアニスト、イム・ユンチャンを起用。
	大阪フィルハーモニー交響楽団	R7.7.23	主催	鈴木愛美(2024年浜松国際ピアノコンクール優勝者)が大フィルと協演。指揮者には大フィルの音楽監督を務める尾高忠明が登場。
	オービック・スペシャル・コンサート2025 アクロス・スペシャルセレクション	R7.9.9	主催	小林研一郎指揮による、期待の若手ソリストと九響の共演。コバケンとアクロスがセレクトした名曲を披露。
	ポーランド国立放送交響楽団	R7.9.24	主催	東欧最高峰の名門オーケストラが、日本屈指の人気ピアニスト角野隼斗と協演。
	スペインADDA交響楽団	R7.10.29	主催	スペインのオーケストラが世界で活躍するギタリスト村治佳織をソリストに招き共演。
	第19回ショパン国際ピアノ・コンクール 入賞者ガラコンサート	R8.1.23	主催	2025年開催のショパン国際ピアノコンクール入賞者がワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団と登場。
	NHK交響楽団 特別演奏会	R8.2.23	主催	次世代筆頭の指揮者ヤクブ・フルチャがNHK交響楽団に登場し、得意のドヴォルザークやブラームスを披露。
	九州管楽合奏団演奏会2025	R7.5.11	共催	九州で唯一のプロ吹奏楽団が吹奏楽のために作曲された交響曲を披露。
	ベルリン交響楽団	R7.6.23	共催	ドイツの名門オーケストラがWEB配信で絶大な人気を誇るピアニスト・石井琢磨と共演。
	ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤーコンサート2026	R8.1.9	共催	ウィンナ・ワルツ本家本元のオーケストラが贈る、新年を祝うニューイヤーコンサート。
室 内 楽	前橋汀子によるヴィヴァルディ「四季」 & 珠玉の名曲集	R7. 6.16	主催	デビュー55周年を迎えた日本を代表するヴァイオリニスト・前橋汀子と、10人の名手で構成されたアンサンブルによる室内楽公演。
	ヨーヨー・マ チェロリサイタル	R7.9.17	主催	現代最高のチェロ奏者が2年ぶりにアクロス福岡へ登場。
	ザ・シックスティーン	R7.11.24	主催	英国を代表する世界屈指の声楽アンサンブルがアクロス福岡へ初登場。
	反田恭平リサイタル with ベルリン・フィルメンバー	R7.12.5	主催	第18回ショパン国際ピアノコンクール第2位の反田恭平がベルリンの名手たちと共演。
	東京六人組	R8.1.12	主催	在京オーケストラの首席やソリストにより結成された、実力派アンサンブルが登場。
	デビュー50周年記念 千住真理子ヴァイオリン・リサイタル	R7.4.20	共催	ストラディヴァリウスの名器「デュランティ」と歩む50周年の軌跡を、華麗なる名曲選で贈るリサイタル。
	ウィーン少年合唱団	R7.5.13	共催	“天使の歌声”の愛称で、世界中の人々から愛され続けるウィーン少年合唱団による来日70周年公演。
	横山幸雄 ピアノ・リサイタル 入魂のショパン	R7.5.31	共催	日本を代表する人気ピアニストが、ショパン国際ピアノコンクール入賞35周年記念として贈るショパン・プログラム。

公 演 名		開催時期	形態	内 容
九州 交響楽 団との 共同企 画	小林愛実 ピアノ・リサイタル	R7.6.1	共催	世界で活躍する小林愛実(第18回ショパン国際ピアノコンクール第4位)によるソロリサイタル。
	田中彩子ソプラノ・リサイタル2025	R7.9.27	共催	音楽の都ウィーンで活動続ける、日本が世界に誇るコロラトゥーラ・ソプラノ歌手が登場。
	ツォトネ・ゼジニゼ ピアノ・リサイタル	R7.11.12	共催	ジョージア出身15歳の天才ピアニストによるソロリサイタル。
	古澤巖×ベルリン・フィルハーモニックストリングス	R7.12.13	共催	ヴァイオリニスト古澤巖とベルリン・フィルの精鋭による弦楽六重奏演。
	九州交響楽団「第九」	R7.12.21	主催	年末恒例の九州交響楽団による第九の公演。
	九州交響楽団 ニューイヤーコンサート	R8.1.10	主催	年初め恒例の九州交響楽団によるニューイヤーコンサート。
	九響定期支援事業	通年	主催	本番と同じ環境でリハーサルを実施することができるように、定期演奏会前日にシンフォニーホールを会場として提供する。また、公開可能な場合には公開リハーサルを実施。
	吹奏楽×オーケストラスペシャルライブ ～航空自衛隊航空中央音楽隊を迎えて	R7.9.6	共催	世界的な名門吹奏楽団である航空自衛隊航空中央音楽隊と九州交響楽団が共演。
	九響・オーケストラ for キッズ	R8.3.28	共催	3歳から楽しめるフル・オーケストラコンサート。子どもたちに感動体験を伝える。

演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成(28事業)

公 演 名	開催時期	形態	内 容
舞台芸術感動体験事業	R7.11.19	主催	県内の小中学生がシンフォニーホールでフル・オーケストラコンサートを体感する事業。
学校キャラバン事業	通年	主催	県内の小中学校を対象に楽器演奏体験の出前授業を実施。
◎ ランチタイムコンサート vol.110 The 4 Players Tokyo	R7.4.14	主催	音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」の人気指揮者、藤岡幸夫がプロデュースした4人の名手によるコンサート。
◎ ランチタイムコンサート vol.111 アンサンブル天下統一	R7.6.6	主催	NHK交響楽団第1コンサートマスターに就任する長原幸太を中心とするトリオが、弦楽三重奏の名曲を披露する。
◎ ランチタイムコンサート vol.112 フランス音楽のエスプリ	R7.7.9	主催	世界でも屈指のオーボエ奏者・広田智之らを中心とした名手たちが、フランス音楽の名曲を披露する。
◎ ランチタイムコンサート vol.113 古典派×ロマン派 稀代の名作曲家による室内楽	R7.9.1	主催	NHK交響楽団特別コンサートマスター篠崎史紀とピアニスト田中美江を中心に集う人気奏者たちが、室内楽の魅力を伝えるコンサート。
◎ ランチタイムコンサート vol.114 秋の豊穣イタリア・バロック名曲選	R7.10.16	主催	イタリア・バロック音楽の名曲に焦点を当てたコンサート。
◎ ランチタイムコンサート vol.115 バレンタイン・スペシャルコンサート	R8.2.12	主催	新進気鋭の若手ギタリスト(クラシックギター)・徳永真一郎らが贈るバレンタインをテーマとしたコンサート。
◎ ヴァイオリンセミナー	通年	主催	講師に景山誠治を迎え、音楽家を目指す若者を対象に実施しているセミナー。成果発表を兼ねたスプリングコンサートを開催。
アクロス福岡国際音楽セミナー2025	R7.7.22 ～8.1	主催	アンティ・シーララ(ピアノ)、キリル・トルソフ(ヴァイオリン)等を講師に迎え、国際的な活躍を目指す演奏家を育成。
福岡ジュニアオーケストラ事業	通年	主催	福岡ジュニアオーケストラの年間活動を支援。定期演奏会のほか、国内外との交流演奏会も実施。
福岡ジュニアオーケストラアカデミー事業	通年	主催	福岡ジュニアオーケストラでの演奏を目指す初心者を対象としたアカデミー。
ミュージック・キャラバン	通年	主催	県内公立文化施設等と連携して開催するアウトリーチ型のコンサート。
第92回NHK全国学校音楽コンクール 九州・沖縄ブロックコンクール	R7.8.26 ～8.27	共催	九州の小中学生による合唱コンクール。
◎ 青少年音楽サポート事業 【14事業】	—	共催	県内の高校・大学等の音楽関連クラブ等がシンフォニーホール等で実施する公演の会場費を助成。

あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出(21事業)

公 演 名	開催時期	形態	内 容
アクロス・バースデーコンサート	R7.4.29	主催	安永徹や市野あゆみが九州交響楽団と共演。アクロス開館30周年を記念して、1800人を無料招待する。
大地の声×天空の響き 声明とカウ ンターテナーによる祈りの音楽	R7.11.22	主催	西洋と東洋の垣根を越えた、教会音楽と声明とのコラボレーションコンサート。
九響マタニティコンサート	R7.4.20	主催	妊娠中の方や乳幼児も参加できるコンサート。
◎ アクロス・クラシックふえすた2025	R7.10.4 ～10.5	主催	クラシック音楽に気軽に親しめるコンサートや楽器展示等、音楽に関する多様なイベントを開催。
◎ 新・福岡古楽音楽祭2025	R7.10.16 ～10.19	主催	民間の実行委員会と共同で行う古楽をテーマとした音楽祭。
劇場って楽しい！！2025	R7.8.2	主催	知的・発達障がい児(者)を対象とした劇場体験プログラム。劇場での体験を通して、鑑賞の仕方を学べる事業。
学校キャラバン特別授業	通年	主催	特別支援学校等を対象に、参加型の出前授業を実施。
◎ 音の懸け橋	通年	主催	(公財)福岡市文化芸術振興財団との共同事業。福岡市内の特別支援学校を対象に、出前授業を実施。
◎ バレエフェスティバル2025	R7.8.3	主催	福岡市バレエ協会による公演。
福岡県文化賞授賞式&記念イベント	未定	主催	文化の振興に顕著な功績のあった個人や団体を顕彰するイベント。
◎ フルーツフェスティバルin福岡	R7.11.2	共催	アマチュアフルーツ愛好家たちによる合同演奏会。
◎ ミニこん！ききにこん！ あ・ら・かるとコンサート	R7.11.2	共催	福岡音楽団体連絡会主催による公演。(会場:円形ホール)
◎ 福岡県オーケストラ連盟 オーケストラフェスティバル2026	R8.3.21	共催	福岡県オーケストラ連盟所属団体による合同演奏会を開催。
◎ 福岡県オーケストラ連盟 助成事業 【8事業】	通年	共催	福岡県オーケストラ連絡加盟団体を対象に会場費を助成。

【令和7年度 情報提供事業の概要】

区分		事業	内容	件数
伝統工芸品の普及と地域文化・生活文化の推進	匠ギャラリーの活性化	匠ギャラリーの運営	①常設展示(国指定伝統的工芸品および県指定民工芸品) ②企画展開催 ③カフェ、ショップ運営	通年
		伝統的工芸品展	福岡県の伝統的工芸品の展示・販売等。	1
		ともに触れ語り合って体感しよう！福岡の工芸品	障がいの有無に関わらず工芸品そのものや道具等を触って鑑賞を楽しむ体感型事業を実施。	通年
	インバウンドを見据えた伝統工芸品と地域文化・生活文化の魅力発信	英語版パンフレットの活用	近隣宿泊施設や観光案内所に匠ギャラリーのパンフレットを設置。	通年
		匠ギャラリー内併設ショップにおける免税対応	外国人旅行者等が一定額以上の商品を購入する際、一部ショップにおいて消費税を免除。	通年
	次世代への継承	夏休み子ども手作り体験	夏休み時期に合わせ、伝統工芸品の職人による子ども向け手作り体験を実施。	1
		匠ギャラリー社会科見学	小中学校等の社会科見学を受け入れ、伝統的工芸品常設展示の説明や制作体験等を実施。	通年
	文化・情報の交流拠点づくり	信 携 多 した 様な 情報 主体と の 連 発信	おでかけナビ	自治体と協働し、地域の資源を活用したイベントなどを幅広く発信。
コミュニケーションエリア企画展			地域文化や観光PRの場として週替わりで企画展を開催。	47
あらゆる人が文化に触れ発信できる機会の創出		みんなのアート展	障がいのある人を対象とした公募展やダンスなどのステージパフォーマンス等を開催。	1
		アクロス・子ども文化芸術体験	文化芸術に触れる機会が少ない“親”“子”を対象とした体験型ワークショップを開催。	1
		メッセージホワイエ企画展	文化芸術活動に取り組む人々に発表の場を提供。	47

		青少年芸術サポート事業	学校等が行う文化芸術活動を支援するため、発表の場を提供するとともに会場費等を助成。	7
観光振興 にぎわいづくりと地域振興・	文化と伝統を生かしたにぎわいのまちづくり	アクロスお正月企画	地域に根付く日本の伝統文化の体験や鑑賞の場を提供。	1
	観光案内所の魅力向上	インバウンドに向けた観光案内サービス	62言語対応可能なAI翻訳機を活用して、九州・県内の観光情報を提供。	通年

2 収支予算書(損益ベース)(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産運用益	0	0	0	
② 特定資産運用益				
文化振興造成基金積立資産受取利息	2,290,000	690,000	1,600,000	
③ 受取会費				
友の会受取会費	0	0	0	
④ 事業収益				
施設サービス事業収益				
施設利用料金収益	374,793,000	374,714,000	79,000	
付属設備等利用料金収益	85,021,000	81,015,000	4,006,000	
付帯サービス収益	81,153,000	80,611,000	542,000	
その他事業収益	4,233,000	4,395,000	△ 162,000	
文化振興事業収益				
チケット販売収益	30,258,000	33,174,000	△ 2,916,000	
運営受託収益	2,310,000	1,650,000	660,000	
その他事業収益	22,350,000	17,800,000	4,550,000	
情報提供事業収益				
広告料収益	240,000	240,000	0	
その他事業収益	3,404,000	3,244,000	160,000	
受託事業収益				
指定管理受託収益	359,957,000	407,534,000	△ 47,577,000	
⑤ 受取補助金等				
受取国庫補助金	10,129,000	5,029,000	5,100,000	
協賛金収益	5,500,000	0	5,500,000	
経常収益計	981,638,000	1,010,096,000	△ 28,458,000	
(2) 経常費用				
① 事業費				
施設サービス事業費				
給与手当	44,625,298	43,481,136	1,144,162	
福利厚生費	8,716,174	8,420,242	295,932	
会議費	26,287	26,287	0	
旅費交通費	691,785	516,785	175,000	
交際費	17,615	17,615	0	
通信運搬費	2,977,654	3,071,654	△ 94,000	
消耗品費	431,432	431,432	0	
消耗什器備品費	4,712,690	0	4,712,690	
修繕費	53,280,000	56,300,000	△ 3,020,000	
印刷製本費	1,513,859	1,487,859	26,000	
光熱水料費	77,184,668	93,531,668	△ 16,347,000	
食糧費	27,100	27,100	0	
賃借料	5,943,438	8,173,070	△ 2,229,632	
保険料	557,194	557,194	0	
諸謝金	1,259,337	1,259,066	271	
租税公課	15,874,738	15,875,555	△ 817	
支払負担金	32,852,228	31,384,248	1,467,980	
委託費	345,569,372	335,374,313	10,195,059	
手数料	358,533	87,533	271,000	
文化振興事業費				
給与手当	70,807,670	68,992,210	1,815,460	
福利厚生費	13,830,090	13,360,530	469,560	
会議費	401,710	371,710	30,000	
旅費交通費	2,184,050	1,974,050	210,000	
交際費	27,950	27,950	0	
通信運搬費	2,019,820	2,019,820	0	
消耗品費	3,175,560	2,701,560	474,000	
消耗什器備品費	7,477,700	0	7,477,700	
印刷製本費	442,470	442,470	0	
食糧費	123,000	123,000	0	
賃借料	3,235,540	8,446,100	△ 5,210,560	
保険料	121,396	121,396	0	
諸謝金	7,013,210	15,052,780	△ 8,039,570	
租税公課	3,464,192	3,461,370	2,822	
支払負担金	59,745,520	63,995,520	△ 4,250,000	
委託費	119,966,160	110,478,810	9,487,350	
手数料	11,161,890	10,754,890	407,000	
広告宣伝費	3,080,000	2,860,000	220,000	
情報提供事業費				
給与手当	21,406,970	20,858,110	548,860	
福利厚生費	4,181,190	4,039,230	141,960	
会議費	12,610	12,610	0	
旅費交通費	363,550	363,550	0	
交際費	8,450	8,450	0	
通信運搬費	461,620	461,620	0	
消耗品費	2,497,960	2,447,960	50,000	
消耗什器備品費	2,260,700	0	2,260,700	
印刷製本費	303,770	448,770	△ 145,000	
食糧費	13,000	13,000	0	
賃借料	735,140	1,878,100	△ 1,142,960	

	保険料	3,410	14,410	△ 11,000	
	諸謝金	1,808,110	1,892,980	△ 84,870	
	租税公課	94,570	94,575	△ 5	
	支払負担金	1,486,320	86,320	1,400,000	
	委託費	12,581,560	11,418,710	1,162,850	
	手数料	177,990	47,990	130,000	
	広告宣伝費	1,130,000	1,621,000	△ 491,000	
	広報事業費				
	給与手当	21,406,970	20,858,110	548,860	
	福利厚生費	4,181,190	4,039,230	141,960	
	会議費	12,610	12,610	0	
	旅費交通費	265,550	270,550	△ 5,000	
	交際費	8,450	8,450	0	
	通信運搬費	474,620	217,620	257,000	
	消耗品費	356,960	706,960	△ 350,000	
	消耗什器備品費	2,260,700	0	2,260,700	
	印刷製本費	283,770	133,770	150,000	
	食糧費	13,000	13,000	0	
	賃借料	699,140	1,842,100	△ 1,142,960	
	諸謝金	714,110	1,023,980	△ 309,870	
	支払負担金	86,320	86,320	0	
	委託費	13,564,560	14,487,710	△ 923,150	
	手数料	171,990	41,990	130,000	
	広告宣伝費	1,030,000	200,000	830,000	
	友の会事業費				
	給与手当	0	0	0	
	福利厚生費	0	0	0	
	会議費	0	0	0	
	旅費交通費	0	0	0	
	交際費	0	0	0	
	通信運搬費	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	印刷製本費	0	0	0	
	食糧費	0	0	0	
	賃借料	0	0	0	
	保険料	0	0	0	
	諸謝金	0	0	0	
	租税公課	0	0	0	
	支払負担金	0	0	0	
	委託費	0	0	0	
	手数料	0	0	0	
② 管理費					
	一般管理費				
	給与手当	6,422,091	6,257,433	164,658	
	福利厚生費	1,254,357	1,211,769	42,588	
	会議費	3,783	3,783	0	
	旅費交通費	13,065	13,065	0	
	交際費	2,535	2,535	0	
	通信運搬費	65,286	65,286	0	
	消耗品費	62,088	62,088	0	
	消耗什器備品費	678,210	0	678,210	
	印刷製本費	40,131	40,131	0	
	食糧費	3,900	3,900	0	
	賃借料	209,742	552,630	△ 342,888	
	諸謝金	181,233	181,194	39	
	租税公課	19,500	19,500	0	
	支払負担金	25,896	25,896	0	
	委託費	1,552,668	724,113	828,555	
	手数料	51,597	12,597	39,000	
	その他施設管理費				
	光熱水料費	2,971,332	2,971,332	0	
	支払負担金	751,716	717,696	34,020	
	委託費	2,353,680	2,374,344	△ 20,664	
	経常費用計	1,016,617,000	1,010,096,000	6,521,000	
	当期経常増減額	△ 34,979,000	0	△ 34,979,000	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
	経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用					
	経常外費用計	0	0	0	
	当期経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	△ 34,979,000	0	△ 34,979,000	
	一般正味財産期首残高	71,704,769	71,704,769	0	
	一般正味財産期末残高	36,725,769	71,704,769	△ 34,979,000	
II 指定正味財産増減の部					
① 基本財産運用益					
	基本財産運用益	0	0	0	
② 特定資産運用益					
	文化振興造成基金積立資産受取利息	2,290,000	690,000	1,600,000	
③ 一般正味財産への振替額					
	一般正味財産への振替額	2,290,000	690,000	1,600,000	
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	
	指定正味財産期首残高	558,701,910	558,701,910	0	
	指定正味財産期末残高	558,701,910	558,701,910	0	
III 正味財産期末残高		595,427,679	630,406,679	△ 34,979,000	